

経 大 人 の た め の 情 報 誌

激江

2003年 39号

大阪経済大学同窓会通信

D E N K O

ZOOM UP KEIDAIJIN

■特集Ⅰ ズームアップ経大人

ホーチキ（株）代表取締役社長

藤本 二郎氏

四條畷市長

田中 夏木氏

OB REPORT

■特集Ⅱ OB探訪

西宮市収入役

進木 伸次郎氏

丹波焼窯元

清水 一二氏

松下電工インパルス（アメフト）

白岩 弘司氏



経大人特集

ZOOM UP KEIDAIJIN

ズームアップ経大人 P2へ

厳しい時代を乗り越えるための
的確な舵取りが求められる今、
トップとして多忙な日々を送る経大人に
戦略とビジョンをうかがった。

MESSAGE FOR KEIDAIJIN

経大人へのメッセージ P6へ

70周年を終えた母校のより一層の飛躍と、
各界でがんばるOBたちのさらなる奮起を願って、
熱いメッセージを届けたい。

OB REPORT

OB探訪 P36へ

身近なところで、また意外な分野でも
経大人がエキスパートとしてがんばっている。
そんな元気なOBの素顔にせまってみた。

特集●各界で活躍する経大人の今を聞く。

大阪経済大学は、

70年の歴史の中で実に多彩な人材を送り出してきた。
つねに前向きに夢に向かってさまざまな分野で活躍する経大人たち。
そこに脈々と流れる経大スピリットはこれからも受け継がれ、
すべての経大人に希望と勇気を与え続けることだろう。

contents

経大人特集 I

ズームアップ経大人 2

ホーチキ(株)代表取締役社長
藤本 二郎氏

四條畷市長
田中 夏木氏

経大人へのメッセージ 6

同窓会会長 田中富三氏

理事長 井阪健一氏

学長 渡邊 泉氏

活躍したOB 活躍しているOB 9

支部だより 10
全国支部からのお知らせ

OB ネットワーク 18
同期生OB会
クラブOB会
ゼミOB会から

ゼミ短信 25
先生方からのメッセージ

理事会・支部総会 29
本部便り 30
事務局便り 31

就職必勝!
インターンシップに行って、わかったこと 32

同窓生のための大学活用術 34

経大人特集 II

OB探訪 36

西宮市収入役
進木 伸次郎氏

丹波焼窯元
清水 一二氏

松下電工インパルス(アメフト)
白岩 弘司氏

15年度のイベント 40
大経大パソコン教室
大経大フリーマーケット

世界に羽ばたく 「安心の総合防災企業」 を目指して



ホーチキ株式会社

日本で最初の火災報知機を設置。
大正9年、東京、日本橋に設置以来、
皇居や国会議事堂、学校、
病院など全国に普及。
現在は防災分野にとどまらず、
ニューメディアやセキュリティ分野へと、
多彩な事業を展開。



PROFILE

昭和43年3月大阪経済大学経済学部経済学科卒業
平成15年6月～現在 ホーチキ（株）代表取締役社長
三重県上野高校から大阪経済大学に進み、
在学中は中小企業論について学ぶ。

集めた名刺が1年で 2000枚

学校近くの学生寮の窓越しに、
開業を間近にした新幹線の試運転
が盛んに行われているのを、ぼん
やりと眺めていました。三重県は
伊賀上野出身の私には、「なんと
素晴らしいものができるんだなあ」と、
いつまでもその姿を追っていたの
を記憶しています。昭和39年
10月の東京オリンピック開催で、
日本中が活気に満ちあふれていた
頃でした。学生時代あまり勉強し
た覚えはありませんでしたが、ゼ
ミの藤田敬三先生らの薦めもあつ
て、当時まだ「東京報知機」とい
う社名のこの会社を受験。幸い合
格し、昭和43年春上京、今はその
部署はなくなりましたが、「企画
広報部」に配属され、社会人とし
てのスタートを切りました。

社内広報誌、広告、社員教育を
担当する部署でしたが、その中の
社員教育を担当させられました。
これが後に社内の人脈を知る上で
大変役に立つことになるのですが、
1年後このセクションが人事部へ
移管されたので、以後人事、管理
畑を歩む事になりました。

入社当時は、この会社が正統7年、
大手損保会社14社の出資によって

設立された会社というだけあって、
損保会社の息のかかった先輩諸氏
がひしめき、「自分はこの会社で
いくら頑張っても、せいぜい部長
どまりだろう」と思ったものです。
その後TQCの旗振り役をやつ
たり、3代の社長につかえる社長
室を担当しましたが、先々代の社
長から「営業を勉強しろ」と営業
本部長を命じられ、シロウトの私
でしたが、歴代の本部長より一番
長い7年間もやらせていただきました。

この間、私は地方勤務の経験も
ありませんし、本社の管理部門ば
かりを歩いてきた人間ですから、
とにかく「人と会う」ということ
を徹底してやりました。集めた名
刺が初年度2000枚、7年間で
8000枚にも達しました。この
名刺はきちんと整理し、社長室の
デスクの横に置いておきます。宮
沢喜一先生ら多くの政治家の方か
ら、スポーツ界に至るまで、あら
ゆるジャンルの人々とのコミュニ
ケーションを今も大切にしておい
ます。

利益を上げる会社は 人の2倍働く

さて、今年6月、創業85周年と
いう歴史あるホーチキの社長に就

任して、その責任の重さに身の引
き締まる思いでおりますが、私は
まず、社員、幹部に「2倍働く」
ことを求めました。報知機業界も
寡占化が進み、価格破壊と相まっ
て利益確保が大変難しくなってい
ます。これを取り切るには、人の
倍は働く。世間で利益を挙げている
会社の社員は、実によく働いて
います。6時半頃から目黒界隈で
役員や管理職が飲んでいるような
会社は、世間様から利益を与えて
はもらえません。

つぎに、新しい分野に果敢に挑
戦しようと言っています。東京消
防庁が一戸建て住宅にも法の網を
かぶせるとかで株価を上げている
ようですが、そうした動きにも敏
感に対応した商品開発をしなくて
はなりません。たとえば、ブロー
ドバンド時代に備えた携帯端末の
有効活用を考えた新商品とか、い
ろいろあります。

もちろん、これまでも蓄積し
たノウハウや技術を応用した新分
野開発は盛んにやってきましたが、
この度、水質を浄化する「循環活
水システム」を開発し、いま脚光
を浴びている六本木ヒルズの毛利
庭園池で採用され、訪れる人々の
癒しの場を提供するといった事業
もやっております。

ともあれ、歴史あるこの企業を、
単に利益を求めるために縮小均衡
する気はありません。世界に羽ば
たくホーチキとなるべく頑張ります。
経営者はそうした夢を持つこと
が何より大切だと思っています。
最後になりましたが、井阪理事
長のもと大学の更なる充実と、そ
こで学ぶ在学生、さらに実社会で
活躍されているOB諸氏のますま
すのご健闘を祈念致します。

火災報知器ハイガード



〈煙感知器〉
煙を感知するセンサー（ビル用）

〈火災・ガス漏れ警報器〉
ガス漏れを感知すると同時に
火災も感知するセンサー（住宅用）

すぐやる。
必ずやる。
出来るまでやる。



人間関係の
大切さを知る

昭和35年春、折からの就職難の中、東洋ベアリング製造の下請け企業であった(株)北田鉄工所に入社、サラリーマン生活のスタートを切ったのですが、この会社の先輩達が相次いで独立していくのを見て「よし、自分もやってやろう」と一念発起。昭和39年田中製作所を起し、2年後の41年に資本金300万円で株式会社とし、松下電産のマイクロモーターの組み立て加工を始めました。

以来40年、この会社経営一筋で生きてきましたが、振り返ってみると、しんどい時の方が多かったし、挫折しそうな時もあったりしました。この苦境を乗り越えられたのは「やり遂げる」という強い信念と、日頃から人間関係を大切にしてきたお蔭だと思っています。

平成18年までに
財政再建を

そんな私ですが、平成14年9月、学校給食センター建設に伴う入札問題で辞任された前市長の後を受けて、生まれ育った四條畷の発展に寄与できれば、と市長選に出馬しました。府議員の後援会長を

20年やっておりましたので、地方行政にはそれなりに関心を持っておりましたが、もちろん自治体の仕事は初めて。それに30年の長期間にわたってお務めになった前任者のしがらみはやはり大きく、市役所内部の意識改革は大変でした。仕事にスピード感がない、公務員は法令・条約に守られている、倒産がない、危機感がない、結果、責任を問われないなど民間企業とのギャップは大きい。

毎朝8時に出勤し、私自身がやる気を示し、形骸化していた部長会議も全員が発言し、意義あるものにした。特別職はもとより一般職員の給与カットやムダを省き、平成14年度単年度決算で黒字化することができました。

平成18年までに累積赤字12億円を解消し、市財政の健全化を図ります。そのためには現在の職員数537人を順次減らし、平成25年には367人へスリム化する一方、市内にある電気通信大学四條畷学舎デジタルゲーム学科と協力し合っ、IT化の推進を図りたいと考えています。また、民間活力を導入するため、新たに教育長や、行政経営室長に民間人を登用しましたが、今後とも人心の刷新を積極的に行うつもりです。

さらに、市町村合併も避けて通れない問題ですが、俗に言われている近隣都市との合併ではなく、もっと大きな広域合併を考えたいですね。そのためには他の都市から求愛される自治体にならないといけません。ともあれ生まれ育ったふるさと四條畷、歴史と緑のまち四條畷を、いつまでも住み良い町として後世につなげてはなりません。そのために塩爺ではあり

ませんが、ホイッスルが鳴るまで頑張ります。

最後になりましたが、母校のさらなる発展のために、市内にキャンパスを持つ電通大と大阪産大を加えた3大学が連携協力し、より社会の求める人材を輩出できるような仕組みづくりが必要となるようでしたら、微力ながらお役に立ちたいと思っています。

四條畷市

大阪府の東北部に位置し、市域の約2/3が北生駒山地でしめられている緑豊かなまちです。市の歴史は遥か旧石器時代にまでさかのぼります。縄文・弥生時代を経て平安時代に入ると市内を南北に走る東高野街道に沿う交通の要衝地となりました。南北朝の頃には南朝方の楠木正行と北朝方の高師直・師泰がこの地で激戦を交え、のちに「四條畷の合戦」と呼ばれました。



卒業生の皆様へ



理事長 井阪 健一

皆様、ますますご健勝のことと存じます。折に触れ、卒業生の各界でのご活躍の様子を耳にいたしますが、その度に本学70年の歴史の重みと拡がりを感じております。

その歴史の節目となりました「70周年記念行事」も滞りなく盛況のもとに終了いたしました。実施に際しましては、卒業生各位の絶大なるご支援とご協力を賜りましたことを、ここで改めて御礼申し上げます。

さて、大学も次なる歴史を築いていかなければなりません。今年、NB館が竣工し、引き続きNC館の建設を着工し、これで環境整備はほぼ一巡いたしました。

そこで、今後は、私が就任時にお約束した3つの課題「教育内容の充実と教育サービスの向上」を経営の中心に据えてまいります。その一つとして、高度専門職業人を育成する「北浜サテライト大学院」を大阪証券ビル（04年11月竣工）に開設の予定です。また、経営学部・経営情報学部・人間科学部においても複数学科の設置を検討しております。

ご承知のように、「教育の構造改革」が打ち出され、多様な人材の育成と大学

の「教育」機能の充実や、その裏づけともなる「第三者評価制度」の導入が国公立、私立を問わず大学の喫緊の課題となっております。

これまで地域社会、企業社会、国際社会に開かれ、評価される大学づくりを進めてまいりましたが、真の評価に耐えうる大学たり得るには、教育の質の向上はもとよりのこと、それを支える財政の健全化や経営の透明性が求められます。

今年9月、関西の大学では初の、投資格付け機関（R&I）による格付け評価を受け、A+の評価をいただきました。また東洋経済（10月11日号）「本当に強い大学」や、ダイヤモンド（10月25日号）

「ザ・大学ランキング」でも同じく高い評価を受けています。これは中堅大学としては、まずまずの成績ではないかと思えます。これに慢心することなく、「第三者評価」の核心ともなる「教育の質の向上」を目指して、ためまぬ努力を続けてまいります。

大樟教育研究会や税理士大樟会をはじめ、各界各位の同窓生のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご活躍とご健勝を祈念いたします。

同窓の皆様へ



同窓会会長 田中 富三

同窓の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃母校及び同窓会に何かとご支援をいただきありがとうございます。同窓会長を拝命してから1年半が経過しました。フェアとオープン、それにスピード、これを同窓会運営の基本理念とし、そして母校発展のための支援の方針としてまいりました。

情報の伝達をより良くするために、当誌「澱江」のほかに「ホームページ」の開設、「同窓会だより」の発行を行っております。まだ不満足な点があるかも知れませんがより努力してまいりたいと思います。

母校は創立70周年を契機として大きく変貌しております。学内にあつては70周年記念館、国際交流会館、新学舎の完成、新学科の開設、大学院の北浜サテライト進出等、学外的には「21世紀を拓く」記念講演会、高校生より募った「17歳からのメッセージ」の反響等々、大阪経済大学の存在がアピールされました。象徴はR&Iによる格付「Aプラス」の取得であります。文系総合大学として、また関西における第一号であります。とても喜ばしいことでもあります。最近、東洋経済新報社が出した「本当に強い大学」の中で、我が母校が比較的上位にランクされた事も宜なる哉であります。

しかしながら日本の大学のサバイバルは、むしろ今からが正念場を迎えます。

「Aプラス」に相応しい中身の充実であります。企業で謂うところの品質の向上でありましょう。

同窓会としては、大学との連携のもと全面的に支援お手伝いをしてまいります。

●ご参考までに本年行った主な活動です。小中高OB先生方による大樟教育研究会の再結成

目的は教育現場での体験を通しての意見交換。教職を目指す学生へのアドバイス。母校応募戦略の意見交換等。

●第一線で活躍中のOBと学生との対話目的は在学生の就職活動に対しモチベーションを与える。

●フリーマーケット、パソコン教室、税務相談の開催
主旨は地域社会との連携、サービス。在学生の実践活動体験。

これらはいずれも大学側の協力を得て実施したものであります。

最後に「70周年記念事業募金」にご協力いただき感謝いたします。前述の記念事業を財政面で支え得たのは、この浄財のお陰と深甚の謝意を申し上げます。この次第であります。なお目標に対してまだ道遠きものがあります。厳しい情勢下にあることは充分承知の上ですが、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同窓皆様のご健勝とご多幸をお祈りします。

経大人へのメッセージ

各界で活躍する同窓生へのエール
—本学の実学志向への新たな取り組み—

学長 渡邊 泉

われらが大阪経済大学は、昨年9月に創立70周年を迎え、「大阪経済大学創立70周年記念講演会」、「17歳からのメッセージ」を始め、さまざまな企画に取り組んでまいりました。2003年度は、これらさまざまな試みを弾機にして、新生大阪経済大学に向けて更なる一歩を踏み出しました。1935（昭和10）年に106名の第1期卒業生を世に送り出し、以来、総数7万2千人に及ぶ同窓生諸兄姉がそれぞれの分野で活躍されておられます。そんな諸兄姉が胸を張って誇れる母校大阪経済大学になれるようにしたいと願っています。

ご承知の通り、この度、R&Iの格付けでA⁺の評価を得、また2003年10月11日号の『週刊東洋経済』に「本当に強い大学」では、関学、関大、中央、専修、法政、立教、明治、関大、と同一ランク（B⁺）の評価を得ました。確かに、学舎は、きれいになりました。さて、次は、その評価に真にマッチする肝心の学生諸君たちの実力の向上です。

外部評価をアップさせるためには、講義のあり方を再検討し、改革していくことが重要と考えました。建学の精神「自由と融和を基軸に据えた人間的実学」に立ち戻り、学生諸君の潜在能力を引き出すために、主体的に参加できる授業形態へとその内容を大きく転換させました。企業のトップを招いての特殊講義（経済学部）、キャリアサポート特講（経営学部）、キャリアアップリッジ（経営学部）等の開講がその具体的成果です。経営情報学部では、創立70周年記念講演会の成果を一步進め、秋学期から、IT、バイオ、ナノテク、エネルギーの4分野の新たな産業モデルを構築するため、企業の第一線の講師を迎えて、先端産業論という講座もスタートさせました。全学的には、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力といった実社会でもっとも要求される力を身につけてもらうための「基盤能力開発講座 OSAKA BRAND '03」も開講しました。形式は内容を規定します。学生諸君の実力をきれいな学舎に見合うものにするのがわれわれ教員の仕事です。今しばらくの応援をお願いすると同時に、同窓生諸兄姉のご活躍を心より念じております。一度ぜひ母校に足を運んでください。

活躍したOB 活躍しているOB

実業界で活躍のOB

10回	武内 美次	元 武田薬品工業(株)取締役副社長
11回	岩谷 宣治	元 ニチメン衣料(株)取締役社長
16回	高橋 時造	元(財)建設物価調査会理事長
16回	浜淵 隆男	元 吉原製油(株)常務取締役
18回	鮫 島 圭	元 高砂熱学工業(株)常務取締役
18回	田中 富三	同窓会会長、元 日立金属(株)取締役副社長
18回	広 田 馨	元 積水化学工業(株)取締役社長
19回	井 阪 健一	本学理事長、平和不動産(株)取締役社長、元 東京証券取引所副理事長、元 野村證券(株)取締役副社長、元 野村證券投資信託委託(株)社長
19回	式 村 健二	元 大成建設(株)専務取締役
20回	和 気 淳	恒和化学工業(株)取締役社長
21回	糸 井 完次	元 三起商工(株)専務取締役
21回	木下 隆太郎	大阪化学合金(株)取締役社長
21回	新 堂 友 衛	大阪市信用金庫理事長
22回	古谷七五三	大阪産業大学理事長
22回	松 谷 嘉 隆	元 国際証券(株)取締役社長
23回	上 田 豊	元 日本科学冶金(株)常務取締役
23回	滝 重 一	元 日産キャブ販売(株)取締役社長
24回	木 村 正 人	コープこうべ顧問、元 コープこうべ組合長理事
24回	北 田 浩 之	(株)指月電材製作所 常務取締役
25回	伊 藤 友 二	元 京セラ(株)常勤監査役
25回	村 田 充 紀	元 鉄建建設(株)常務取締役
25回	森 川 義 一	元 日刊工業新聞(株)取締役教育事業局長
25回	山 本 清 隆	元(株)京都西川常務取締役
26回	井 置 陸 平	レンゴー(株)常勤監査役
26回	岩 島 慎 之助	讀賣テレビ放送(株)常務取締役
26回	田 中 良 昌	(株)FM徳島取締役社長
26回	矢 田 雅 巳	西川ヘルス(株)取締役社長、元 大阪西川常務取締役
28回	乙 部 章	フクビ化学工業(株)取締役専務
28回	米 田 幹 郎	(株)扇雀鮎本舗取締役社長
29回	津 秋 靖 博	(株)サンマック取締役社長、元 大阪日産自動車(株)取締役人事部長
29回	中 西 久 雄	元 日立金属商事(株)取締役
29回	森 孝 次	モリテックス(株)取締役社長
30回	今 井 三 夫	鴻池運輸(株)常務取締役
30回	岩 貞 樹	琵琶湖汽船(株)取締役社長
30回	小 林 一 己	(株)大阪西川常務取締役
30回	佐 藤 武 司	日本ジコウ(株)取締役社長
30回	田 村 正 晴	元(株)ミカド常務取締役
30回	辻 英 幸	品川ハイネン(株)取締役社長、元 シナネン(株)常務取締役
30回	古 田 富 久	紀陽カード(株)会長、元(株)紀陽銀行 常務取締役
30回	松 浦 文 彦	(株)ミカド取締役副社長
31回	今 泉 久	明光ナショナル証券(株)常務取締役
31回	大 内 捷 次	(株)四電工監査役
31回	辻 本 清 孝	元 日立金属商事(株)常務取締役
31回	中 林 五 十 一	ナカバヤシ(株)取締役副社長
31回	林 原 英 祐	タツタ電線(株)監査役
31回	牧 野 明 次	岩谷産業(株)取締役社長、関西経営者協会副会長
31回	森 忠 利	三和シャッター工業(株)執行役員
31回	吉 田 春 雄	京セラ(株)常務取締役
32回	辰 巳 昭	北陸電力(株)取締役経営管理部長
32回	広 沢 征 雄	元(株)クリハラント常務取締役
32回	前 田 健 彦	讀賣テレビ(株)取締役営業局長
32回	吉 富 健 之 輔	新井組常務執行役員
33回	高 井 真 人	朝日保険サービス(株)取締役社長、元 朝日生命保険相互(株)取締役
33回	高 橋 洋	ユニカムメディカル(株)取締役
34回	赤 井 貴 治	大塚製薬(株)常務執行役員
34回	角 脇 忠 行	日立金属商事(株)執行役員九州支店長
34回	佐 々 栄 治	愛眼(株)取締役社長
34回	佐 々 木 武 彦	安治川鉄工(株)常務取締役
34回	定 永 明 雄	伊藤忠燃料(株)取締役専務
34回	竹 森 亮 剛	石原薬品(株)取締役社長
34回	藤 本 二 郎	ホーチキ(株)取締役社長
34回	村 山 栄 男	(株)大阪西川常務取締役
35回	伊 藤 雅 博	岡三投資顧問(株)取締役社長、元岡三証券(株)取締役
35回	阪 本 憲 雄	京都中央信用金庫執行役員
35回	清 水 正	日本電池(株)取締役
35回	久 木 寿 男	京セラ(株)取締役通信機器事業本部長
35回	向 井 信 之	栗原テック(株)常務取締役

実業界で活躍のOB

36回	大 川 修	(株)島精機製作所監査役
36回	大 倉 野 忠 良	フジパン(株)九州事業部取締役工場長
36回	松 尾 泰 久	徳島新聞取締役
37回	梶 村 貞 男	池田銀行(株)理事淡路支店長
37回	高 田 明	(株)ジャパネットたかた取締役社長
37回	田 中 寛	池田銀行(株)顧問、元池田銀行(株)取締役
37回	藤 縄 健 一	日興商会(株)取締役社長
37回	山 下 徹 男	日立金属商事(株)執行役員
37回	勇 元 伸 介	(株)阪神百貨店取締役
38回	内 山 公 司	ヤマトインターナショナル(株)常務取締役
38回	北 室 雅 弘	(株)ホテル京阪取締役
38回	中 森 茂	ダイシエツ工業(株)取締役
39回	魚 橋 洋	新光証券(株)執行役員
39回	池 田 正	(株)セシール執行役員
39回	大 河 内 徹 心	(株)京都西川取締役
39回	大 坪 公 司	(株)新阪急ホテル常務取締役
39回	西 原 茂	みずほインベスター証券(株)執行役員
39回	山 内 岩 雄	三和シャッター工業(株)執行役員
40回	木 村 政 夫	奈良交通(株)取締役経理部長
40回	平 沢 正 博	兵庫FMラジオ放送(株)取締役社長
40回	松 本 賢 二	三菱証券(株)執行役員
43回	中 西 裕 一	丸宏大華証券(株)取締役

官公庁・他のOB

15回	中 山 隆	西宮廣田神社宮司
19回	野 尻 忠 正	元 奈良県十津川村村長、元奈良交通(株)副社長
19回	牧 田 安 夫	東京都日中友好協会副理事長
21回	田 淵 栄 次	元 神戸市助役
21回	中 谷 好 男	堺シルバー人材センター理事長、元堺市助役
21回	山 口 義 隆	(株)FM802監査役、元 大阪国際花と緑の博覧会協力局儀典長
26回	田 中 夏 木	大阪府四條畷市市長
28回	寺 本 武 史	高槻市助役
29回	足 立 昭	兵庫県公営企業管理者(兵庫県企業庁)
30回	進 木 伸 次 郎	兵庫県西宮市収入役
33回	江 守 光 起	京都府舞鶴市市長
33回	福 本 芳 博	兵庫県宝塚市企画財務部長
34回	筒 井 良 盛	奈良県高取町町長

公認会計士・税理士・他のOB

13回	大 城 戸 武 子	税理士、(元税理士大樟会会長)
13回	松 浦 圭 子	公認会計士、(我が国女性第1号)
16回	中 村 行 男	大阪商工会議所簿記検定委員
26回	長 谷 川 宗 平	税理士、(元 国税局東大阪税務署長、元 税理士大樟会会長)
31回	鎌 谷 任	公認会計士
37回	福 元 輝 雄	税理士、(元 税理士大樟会会長)
50回	原 孝 仁	公認会計士

(税理士大樟会は本学OBで構成され現会員数は約200名)

大学教授のOB

13回	能 勢 信 子	元 神戸大学教授、経済学博士(神戸大女性教授第1号)
14回	柴 田 悦 子	大阪市立大学名誉教授
18回	浜 本 泰	本学名誉教授
23回	伊 伏 彰	鹿児島経済大学教授
29回	辻 節 雄	名古屋外国語大学教授
32回	逸 見 啓	阪南大学教授
32回	坂 手 恭 介	山口大学学長特別補佐
34回	石 川 勝 徳	徳山大学教授
35回	植 木 英 治	香川大学教授
36回	小 谷 融	本学経営情報学部教授
院	山 田 文 明	本学経営学部助教授

(他にも多数のOBがおられます)

プロの芸術家のOB

32回	古 野 幸 治	陶芸(泉南、自然派)
39回	成 田 一 徹 (徹)	切り絵(あまから手帖、毎日新聞、朝日新聞、等に連載)
50回	清 水 一 二	陶芸(丹波焼)

その他で活躍のOB

34回	木 村 文 治	(株)京都パープルサンガ常務取締役(総監督)
46回	小 山 裕 史	(株)ワールド・ウイング・エンタープライズ取締役社長

高校野球

北海道支部

北海道支部からの今年最大の話題は、全国高等学校野球選手権の北海道大会におきまして、第61回卒の渡辺伸一さんが率いる北海道栄高等学校が決勝戦まで進んだことです。北海道栄高等学校の近年の戦力は、強豪ではありながら、北海道でトップを争うレベルまではもう一歩という印象でした。

今年は、渡辺伸一さんが監督に就任されてからの熱血指導が実り、室蘭地区予選を突破して南北北海道大会の準決勝までを勝利し続けました。

残念ながら、惜しくも決勝戦で敗れ夏の甲子園出場を逃しました。しかし、強豪チームを作り上げた渡辺伸一さんは、来年も挑戦しますので、甲子園出場の際は同窓会総勢で応援してください。

鶴飼康正（51回）

東京支部 母校へ行く

東京支部

活動報告

我々東京支部は毎年八重洲の富士屋ホテルで総会を開いていましたが、70周年記念を一つの節目ととらえ、昨年初めて母校で総会を行いました。



東京に住む者にとって母校は遙か彼方の大学でしたが、30名の出席者全員が再び母校の地を踏み、揃って大きな感動を覚えしました。全国の支部の皆さん、ぜひ母校で総会を開かれることをお勧めします。

今後の活動

70周年募金を中心に活動してまいります。またもうひとつ「どうすれば若いメンバーを総会に呼べるのか」を最大のテーマとして知恵を絞ってゆきたいと考えています。

豆村 隆（39回）

改革が進む大学へさらに発展を

富山支部

富山支部は本年7月に高岡市にて



総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めました。同窓会より国西良昌事務局長補佐と大学から学生委員長の樋口克次先生の来賓のご出席のもと、和やかな雰囲気の中で、改革が進む大学の状況を報告して頂きました。

本年度の支部総会は、7月第2土曜日に富山市での開催を申し合わせました。多数の会員のご出席をお願いする次第であります。

事務局長 高橋 努（34回）

役員による地域面談を実施

静岡支部

徳川家と深く関わる浅間神社参道にある名料亭「うお兼」で、8月の最終日曜日に静岡支部総会を開催しました。過去には元会長萩原氏、前会長陰下氏に続き、今回は田中会長の御来席をいただき、さらに北村経営学部長のご出席もあり、3時間半の充実した総会となりました。

支部では活動の原点として各地域に役員が出向して地域面談会を実施して、1人でも多くの知己を増やす努力を続けています。総会当日には幾多の都合で参集できない人々も何らかの支援を頂くようになりまし



た。本誌を介して面談来訪を乞う同窓の方々の希望を頂きたく期待いたします。

県内の大学急増状態という環境に

あって、大経大の心の結束を育てていきたいと思います。来年の総会にはさらに多数出席を望みます。

支部長 磯田郷一郎（26回）

学生時代のクラブ活動

福井支部

幾つになっても、技を磨き心を鍛えてくれた学生時代のクラブ活動へ、心を馳せる時がある。昨年の創立70周年記念式典に参加した後、久しぶりに学生会館に立ち寄ってみた。吹奏楽総部に所属し、毎日この学生会館の近辺で、楽器の練習に励んでいたのは30数年前のこと。その日も後輩たちは、各パートに分かれてパート練習をしている最中であつた。昔と変わらぬ光景に、後輩たちとの年齢差を忘れ、一緒にスティックを持つて太鼓の練習台に向かった。50歳を過ぎた今も、現役プレイヤーとして市民吹奏楽団で演奏を続けていられるのも、吹奏楽の本場である関西の地で、4年間いろんな経験を積ませてもらったおかげであると感謝している。

6月14日の県支部総会に参加された同窓生にも、落語研究会や合気道部、サッカー部等々学生時代のクラブ活動で培ったものを大切にしている人は多い。特に、同窓生の心をひ

とつにする日先輩の逍遙歌に合わせた演舞は、支部総会には欠かせないものとなっている。

森 眞一郎（39回）

同窓生よ

岐阜支部

「同窓会とは何ぞや」この問に対してかくのような返事が帰ってくる。とは思っていませんでした。本当に同窓生なのか！母校の70周年の記念事業であれば、何とかしようと思うのが同窓生じゃないでしょうか。現に今の景気は思わしくなく、ときにはあるが、少なくとも5000円、10000円のお金を寄付するのが、卒業生ではないのでしょうか。

同窓会をいかに考えているのかが分かります。どうするの同窓生。

岐阜の卒業生に171通投函しましたが、返送は62通でした。後の109通は返事も頂けませんでした。本当に母校を考える気持ちがあるのであれば一度行動をおこしてください。

支部長 長崎和夫（29回）

能登部会発足

石川支部

今年は何と言いましても、石川県は能登空港の開港で賑わっておりま

会長から期待のメッセージ

愛知支部

愛知支部の14年度総会は11月9日（土）夜、名古屋市中区の「木曾路」栄店で、大阪から阪下前同窓会長、波根総務部長、水納事務局長、そして岐阜から長崎支部長等来賓を迎え開催しました。一人でも多くの参加者をと井上氏ら幹事一同の尽力を得て32名の参加をみました。

支部長 柚木 繁（21回）

す。当支部、長年の懸案でありました地区部会の設立の件につき、能登地区の田中治夫さん、笠間幸一さん、お2人が中心になり、皆さんの御尽力によって昨年11月能登部会が発足いたしました。

総勢50名弱、その発会記念パーティーが七尾市の平安閣で開かれ、金沢から2人が招かれ参加いたしました。ひじょうに楽しく有意だったと喜んでおります。

なお加賀部会も準備が進み、近いうちに発足することになっております。また県内では多数の同窓生の皆さんが各分野の重要なポジションで活躍されていることを申し添えます。

会は宴会形式でひざを交え和やかな雰囲気の中で進行。またこの席には初め田中新会長の出席を予定し

ていましたが、会場を変更したため日程の調整がつかず断念せざるをえませんでした。しかし当日、田中会長から期待と支援のメッセージを頂きました。

それは、①同窓会運営をフェアでオープンにするため、「同窓会だより」ホームページの作成などIT時代を反映した情報の迅速化。②より一層の大学側との連携を強化、支援の推進等大要2点にわたる丁重で力強い重点政策。以上の2点でした。

ついで波根次長、水納事務局長から大学の近況を伺い創設70周年記念講演をはじめとする大学の事業、学外アピール等で高い評価を受けていることに感動しました。

また、この席には京都府から前任の阿部淑子支部長も駆けつけて頂き、暖かい激励を頂きました。更に次回の支部総会にも参加を約束。席上、愛知支部から感謝の花束が贈られ拍手に包まれました。

愛知支部は現在名簿上、約300余名の陣容です。その多くは転勤族で地元出身は減少しつつあるのが現実です。総会参加者も大学世代が多くなつてきていますが、多志歳々の高商世代も意気軒昂です。先輩のよき伝統を継承し皆さんの協力を得て15年度支部総会も盛況を期待しています。

支部長 明田安生（25回）



悲しいお知らせ

三重支部

今年は記録的な冷夏でしたが、会員の皆さんにはお変わりなくお元気のことと思います。

さて平成14年度の三重支部の総会は例年の如く母校より佐藤総務部長、本部より福元副会長をお迎えして、会員14名（今年は少なかつた）の参加を得て平成14年11月10日松阪市の「和田金」にて開催しました。席上、来賓の両氏より母校70周年記念の諸行事、事業などについて種々お話を頂き、1年振りの再会に話はずみ盛會裡に再会を約し散会しました。

さて次は計報です。長年にわたり支部の事務局長として尽力を頂いた橋本漢氏（8回）が6月10日に、また皆さんよくご存知の日展会員（洋画）の関田庄司氏（8回）が9月18



同好会に参加しましょう!!

豊中支部

平成15年度実施済み支部活動

- 1 第18回通常総会
〔平成14年10月1日〕
- 2 秋のハイキング
〔平成14年10月13日（日）〕
- 3 麻雀大会
〔平成14年11月17日（日）〕
- 4 春のハイキング（嵐山・嵯峨野）
〔平成15年2月15日（土）〕
- 5 カラオケ大会
〔平成15年3月30日（日）〕
- 6 ゴルフコンペ
〔平成15年5月10日（土）〕
- 7 ボウリング大会
〔平成15年6月4日（水）〕
- 8 読書会（1泊）
〔平成15年7月12日（土）〕

日に急逝されました。惜しみても余りあり全く残念という他ありません。ここに両氏の多年に亘る当支部へのご貢献に対して深甚なる謝意を表すると共に心からご冥福をお祈り申し上げる次第です。（合掌）

支部長 中尾大輔（5回）



平成16年度支部行事予定

- 1 第19回通常総会
〔平成15年10月1日〕
- 2 秋のハイキング（金剛山）
〔平成15年10月18日（土）〕
- 3 麻雀大会
〔平成15年11月16日（日）〕
- 4 春のハイキング
〔平成16年2月14日（土）〕
- 5 カラオケ大会
〔平成16年4月4日（日）〕
- 6 ゴルフコンペ
〔平成16年5月15日（土）〕

世代を越えて

池田支部

平成15年度支部総会を第11期から第43期生21名が集い、9月28日（日）池田市民文化会館で開催しました。平成3年7月第39番目の支部結成に際しましては、陛下常任相談役の多大のご尽力とご指導に預かり、池田支部が存在しておりますが、この度陛下常任相談役に「大経大の思い出を語る」の中で、激動期の大学の状況を語ることができ、たいへん有意義なお話を聞かせていただきました。

田中会長からは「17歳からのメッセージ」がいかに特筆すべきかを力説され、明けて30日新聞各紙で優秀作品が掲載されたのを見て、夢を持って社会を創出する勇氣にあふれた若者たちの言葉に感動を覚えた、大経大の同窓生を始め多くの読者に感銘を与えたことでしょう。母校がこ



のような熱意ある青年に支えられ、商都大阪が、大経大が発展することを祈つてやみません。

支部長 渡辺泰敏（21回）

近況報告と悪い出を熱弁

神戸支部

中秋の一夜（10月22日）、神戸の繁華街・三宮の神戸東急インホテルで恒例の同窓会神戸支部総会が開催されました。

今年は週末がとれず平日夜の開催になり、八方手を尽くして参加呼びかけを行いました。結果は昨年に引き続き40名を若干割り込んでいました。しかし、田中同窓会会長



鳥越武一（31回）

をはじめとする大学関係者のご列席、近隣の明石、丹有、姫路の各支部から支部長・副支部長のご陪席をいただいで盛大な会になりました。少人数の長所として、相互の意志疎通が深まり、より固い絆ができたように思います。

ご来賓の皆さん方からも格調高い意義のあるスピーチをいただきましたが、参加会員全員がマイクを握って、近況報告と学生時代の思い出を熱弁しました。

終了後の夜風には既に肌寒さを感じさせるものがありました。青春時代にタイムスリップした身体はなぜか熱気を帯びていました。

同窓会丹有支部総会開催報告

丹有支部

主題について丹有地区の本年度開催の当番地区である、紅葉も進んだ、初秋快晴の丹波路、柏原にて（3地域有り三田、篠山、柏原にて順次開催）、平成15年11月2日開催しました。昨年に続き全国的にまた、地理学上有名な場所（昨年は日本6古窯の一つの丹波立杭町）である兵庫県水上町の「日本で一番海抜の低い（96m）分水嶺」「水分公園」での開催となりました。

園内の「水分公園資料館」会議室で恒例の総会を開催し25人の参加の中、支部長より先期14年10月からの報告と今後の一年間の活動方針としての「楽しい同窓会」の方策について、スポーツ、文化、福祉等分野の各会員の得意な人を中心に部を作り、その小さな輪を大きくし会員相互の親睦と融和を進める、また推進に現役、及び若手同窓生の意見、知恵の拝借と協力依頼を進める事で、全員の賛同を得ました。

総会終了後、当「水分公園内」を、地元の福祉観光ガイド田辺英子さんの案内により、当地が外海に對し、どちらからも内陸部に約70キロ地点の所で、日本海側は由良川に、太平洋側は加古川につながっている、また太古の昔より此処で生まれた雨水、



清水が、なんの因果があるのか？ここで分かれ、遠く離れた外海の大海原でまた、結ばれるとの壮大なロマンのある話に耳を傾け、また将来何らかの理由により海抜が1000m上れば日本のこの場所が最初に分断される等々楽しい話の後、料理旅館「天和」に移動。

次に親睦会を開催し学校側の波根総務部次長より最近の現況で大学ランキング付けの話で総合評価点が早稲田慶応クラス、関西でもランク5、4位レベルとの心強い話もあり、また同窓会本部の水納事務局より田中同窓会会長から総会開催についてのお祝いの言葉があり、（紙面を借りて



御礼申し上げます。また現況報告の中で同窓会各支部サポートがいかに大切な、とお話の中で引き続き本部側への協力依頼がありました。そして終わりに逍遙歌を全員肩組みしながら歌い、閉会となりました。本当に楽しい1日を過ごすことができました。

来年も三田地区の開催を予定していますが、「楽しい同窓会」の計画によるより多くの会員の参加を図っていききたいと思います。

おわびとおねがい

東播磨支部

みなさまますますご清栄の段、大慶に存じます。名ばかりの支部長で申し訳ありません。おわび申し上げます。いつの間にか75歳となり、「肺がん」の治療にがんばっております。みなさまのお力で新しい支部の結成をおねがい申し上げます。母校、同窓会のみなさまのご健康とご多幸をお祈りいたします。

支部長 永井 宏(19回)

支部総会も終了

和歌山支部

和歌山支部同窓会の皆様元気で

とができました。これも皆様のお陰と役員一同心から感謝しております。

今回は35期粉川さんのハワイアンバンドのアトラクションもあり、残暑を忘れさせるひと時を過ごすことができました。

なお、ゴルフの会の希望が多く、ぜひ実行したいと考えます。

今回陰下相談役と一緒に参加くださった荒木、松原、福田各先輩の皆様にも心からお礼申し上げます。

来年も多くの皆様のご参加を。

支部長 竹本 巧(37回)

5年ぶりに第6回 備後支部総会を開催

備後支部

平成14年11月17日、福山駅前、ニユーキャッスルホテル16階ビューにて5年ぶりに、第6回支部総会を開催いたしました。同窓会本部より田中同窓会会長、水納事務局長、大学側より香積常務理事、そして老いてますます意気盛んな佐々木広島支部長(9回)のご臨席を頂き、同窓生20名の参加(申込者全出席)を得て楽しいひと時を過ごしました。当日は雲ひとつない好天気恵まれ、あたかも久しぶりの支部総会を祝ってくれているようで、すぐ近くに見え



日々お過ごしのことと思います。15年度1年の支部活動ですが、幹事会を2回開き今年度総会の件を相談し、今回は10月5日(日)午後4時から参加人員を1人でも多くを目標に開催しました。学長はじめ県市の多数の来賓参加のもと、盛大に開催できました。

また今年度は統一地方選挙の年で、同窓会から和歌山県議1名、和歌山市議1名、橋本市議3名が上位当選しました。またゴルフ部も12月と5月に2回開き、総勢60数名の参加で開催しました。総会の席では70周年記念募金活動に多数ご協力くださいましてありがとうございました。

支部長 宇藤博文(28回)

の福山城は、まるで一幅の絵のようでした。

来賓の方々より、創立70周年を迎えたいろいろな話を聞いた後、懇親会では、史実に詳しい守屋前支部長(26回)の福山の今昔と題した話、そして詩吟部OBで今も現役に頑張っている高上安史君(32回)の尺八奏者を添えての、70周年を賀すとした自作の朗吟、また学生時代を思い起こさせる岡崎正広君(37回)の裸踊り等々で、あつという間に約2時間半が経過いたしました。最後に、応援団OBの私(小池勝章32回)が学歌とエールで締めさせていただきます。

支部長 小池勝章(32回)

外食産業で活躍する後藤さん

徳島支部



外食チェーンを展開中の株式会社イードム(徳島県小松島市田野町宮ノ下14)代表取締役社長・後藤眞人(写真・35回卒業)は、三重県に総本部のあるタンタン麵・熱烈一番亭の四国・兵庫地区本部として98年から出店を展開。

同窓会・父母会を同時開催

岡山支部

数年前より、大学本部が毎年、7月の第2日曜日に岡山で父母会を開催されております。大学の先生方も多数ご出席頂くということで、今年始めて岡山支部も、前日の7月12日(土)に、同じ会場の、岡山プラザホテルで開催することになりました。学長始め、8名の先生方、並びに昨年本部の同窓会会長に就任された田中富三氏と合計10名の方々のご出席を頂きました。6月の終わりで、出席者が、わずか30名にも満たない状況



昨年は神戸多開店、高知インター店を出し現在直営8店、F C 8店の計16店。来年度中に20店舗に。売り上げも順調。今年は12月期16億円、2年後20億円を目指す。

後藤社長は「エリアの拡大をはかりたい。同窓生の皆様お立ち寄り下さい。四国、兵庫での出店はご相談下さい」と強調。地元新聞にも大きく取り上げられるなど、徳島のホープとして期待される。

設立20周年を迎えて

愛媛支部

愛媛県支部も今年で設立20周年を迎えることになりました。現在は7月第1日曜日に支部総会を開催しております。今年も17名の参加で新居浜リーガロイヤルホテルにて開催して、会員相互の親睦をはかりました。同窓会本部より国西良昌事務局長補佐と同じく神田氏を迎えて、和やかな雰囲気のもとで大学の現状や将来についての報告をいただきました。

本学創立70周年記念事業は今年も継続しているとの事で、我が支部も20周年を機に前進を期していきたいと思っております。来年の再会を約束して散会、この誌面をお借りして、来年ぜひ多くの同窓生が参加されま

成功裏に総会を終了

津山支部

8月30日同窓会陰下常任相談役、香積大学常務理事のご来賓を始め、岡山支部小野支部長、塩尻副支部長様の出席を得、また今回2名の初参加を含め31名という過去最高の出席者を得て、成功裏に総会を終えるこ



況でしたが、多数の先生方のご参加を頂くにはあまりに淋しい限りで、それ以後役員その他の方々のご努力で、50名以上の出席にこぎつけました。父母会と同時に開催で、皆も久しぶりに学校の状況聞き、いろんな意味で交流が持たされたように思います。

支部長 小野 隆(35回)

語り飲み歌い明かした1日

高知支部



平成15年度高知支部同窓会は、10月17日高知市の中心街にある料亭葉山にて、本部より香積常務理事、高塚課長をお迎えして開催しました。今年は昨年より参加人数が多少増え大いに盛り上がりしました。大学の現

すようお願いたします。

金子卓行(35回)



状、諸問題等ご報告をお聞きし、開宴の運びとなり、宴半ばには参加者の自己紹介、現状報告、学生時代の思い出などを語り合いました。

延々3時間になるところで切り上げ、2次会へと場所を変え夜の更けるのも忘れ、深夜まで語り飲み歌い明かしました。

支部長 野崎邦男 (32回)

和やかに支部同窓会を開催

平成15年2月22日、福岡シティホテルにて、同窓会を開催いたしました。同窓会から田中富三会長、津秋靖博副会長、大学から佐藤昌八総務

部長にご参加いただき、北九州支部から22名の同窓生が集まりました。短い時間でしたが、和やかな時間が過ごせましたことを皆様に感謝いたします。

河野一郎副支部長率いる生バンド演奏も会場を盛り上げていただき、学歌、逍遙歌も生演奏のもと、全員で声高らかに歌うことができました。今回は、初めての方が4名も参加いただき、大変うれしく思っております。新たにご参加いただける方を増やしていけるような雰囲気づくりと、継続した活動に取り組みます。今後とも、よろしく願っています。

支部長 植田達三 (52回)



九州合同総会の成功を祈って

熊本支部

15年度、熊本支部総会は5月24日、弘法大師に起因する杖立温泉にて15名の出席をもって開催いたしました。今回は川津、伊藤両氏夫人も同席され、毎年恒例の和やかな雰囲気の下、二次会のカラオケ合戦へと突入、最



後は「六甲おろし」にて最高に盛り上がり散会となりました。以前より構想のあった九州全域合同の総会を是非実現させたいものと7月に八代市にて、熊本、北九州、鹿児島、宮崎の各支部長事務局長7名にて初会合を開き、16年度実施する旨、申し合わせました。「九州は一つ」のスローガンの下実現に向けて努力していきたいと思っております。各同窓生諸士の

ご参加を期待いたします。最後に香積常務理事、水納事務局長に御礼申し上げます。

支部長 濱 忍 (35回)

念願がなつて支部発足

宮崎支部

宮崎支部は、15年4月に南九州支部より独立し、会員相互の親睦と母校大阪経済大学の発展に寄与することを目指して活動することになりました。

会員数は、64名となっておりますが、登録もれの会員も多数おられるようです。今後調査の上、完全なものにしていくつもりです。活動方針としては、まず11月19日に第1回の支部総会を開き、そこで支部規約の審議



と会員名簿の配布をしたいと考えています。さらに、70周年記念事業の募金活動にも協力を惜しまないつもりです。今回の宮崎支部発足を機に、支部会員の皆様が1人でも多く、支部活動に積極的に参加されますよう支部役員一同心から願っています。

支部長 大盛豊一 (23回)

支部長交替と会務報告

南九州支部

南九州支部よりご報告。去る4月13日平成14年度の南九州支部総会を開催しました。伊伏支部長退任により、34回の前園博隆(稲原ゼミ)が3代目の支部長を仰せつかりました。例えば昭和47年に磯梅園にて開いた会が礎になって南九州支部となりました。大学も同窓会も、日々変化していますが、大学が何をしてくれるかではなく、大学に対して何ができるか、同窓会が何をしてくれるかではなく、同窓会運営に何を協力できるかが今後の支部運営のあり方かなと考えています。

全国にご活躍の鹿児島、沖縄ゆかりの同窓生のご連絡をお待ちしています。今回、宮崎支部の独立を心から祝い申し上げます。15年度総会には多数の参加を期待しております。

前園博隆 (34回)

同窓会支部長一覧

支 部 名	氏 名	卒回	現 住 所	電 話	E-mailアドレス
北海	田中喜三郎	10			
北東	松谷嘉隆	22			
富山	重松尚	23			
石川	吉田繁	21			
福井	長崎和夫	20			
岐阜	磯田郷一郎	29			
静岡	明田安生	26			
愛知	英成樹	25			
三河	正村公一	38			
滋賀	南和男	27			
京都	太田澄	35			
大阪	福地利仁	17			
市役所	石川裕	39			
大北	笠井二郎	28			
豊田	渡辺泰敏	26			
池田	車野修三	21			
泉尼	小谷芳男	27			
西神	進木伸次郎	24			
丹明	木村正人	33			
東姫	廣野義直	24			
淡奈	佐藤武司	34			
和鳥	永井宏	30			
島岡	森昭一	19			
岡津	長集	32			
備広	宇藤博文	23			
山徳	西山林	28			
香愛	浅原宏	35			
高北	小野隆	22			
大熊	竹本巧	35			
宮南	小池勝章	37			
春	佐々木一義	32			
九	小林真人	9			
分本	田中良昌	32			
九州	岡野敦	26			
会	小野植田	31			
議	野崎三陽	26			
会	植田忍	32			
友	寒田豊	52			
会	濱大盛	40			
日	前園博隆	35			
立	西山昭吾	23			
大	鮫島圭	34			
樟	上田敬二	16			
会	国西良昌	18			
研究	長谷川宗平	29			
	高橋努	28			
		34			



少人数ながら、大いに盛り上がる

昭六会（第六期生会）

母校創立50周年を記念し108名に案内したところ、全国から36名出席し、久しぶりの再会で歓談を通じて感銘感激を深めました。在阪者中心に有志が連絡を取り合っており、時々集まっていたが、今後は毎年同期会開催でコンセンサスがまとまり後日、会の名を昭六会としました。

母校創立70周年の平成14年は出席10名に留まりましたが、常連6名が入院、歩行困難で欠席した為で少人数ながら磯野大兄（初回からの連続出席、陰下相談役、水納事務局長のゲスト3名を囲んで歓談し大変盛り上がり、世話人の面目が立ちました。

戦前戦後の苦境を切り抜け幸いに生き永らえた私たちは、厳しい世相の中で種々史の社会で揉まれて年を重ねた各位の立会であり、昭和商時代のよしみを通じ経大の発展と良き伝統の引き継ぎ、会員の多幸を念じて翌年大阪での再会を楽しみに待ちたいと思います。

長谷川博（6回）

一番楽しい年中行事

ひとみ会

平成15年のひとみ会は神戸・近郊

クサンチドリ、レブンシオガマ、レブンオダマキは花ざかり、残念なのは曇り空で海の向こうに利尻富士の美しい姿が見えないこと。しかし75歳のわれわれにしては、よく歩けたと自信を持ち、何時までも元気に同期会旅行を続けようと思ふ。

翌日午前中、稚内観光。午後関西空港直行便で帰阪、今回の旅は時間的にゆったり組まれ、オシャベリの時間も十分あった。なにより全員元気で旅を楽しめたことが最高の幸せである。（参加者11名）

柴田悦子（14回）

新緑の箕面を訪ねて

第16・18回生例会

毎年できるだけ多くの参加を得ようと頭を痛めるのが場所の選定である。本年は関西居住者が大半を占めていることもあって大阪近郊の箕面観光ホテルで実施した。（5月12日、13日）

日帰り参加も可能であるため、例年にくらべて微増の18名が参加した。ホテルは築後相当の年月を経ているため、古色蒼然たるものであるが、桂太郎公の別邸に隣接し、緑多く閑静そのものである。

久しぶりの参加者もあり、関東・東海・岡山方面の参加者とともに旧



在住の6名が幹事を拝命、5月27日懐かしい友36名が芦屋のホテル竹園に集まり、楽しい一刻を過ごしました。

写真撮影の後、宴会は乾杯から始まり、各人の近況報告、全員で一本ずつ持ったガーベラのジャンケンに依る争奪戦、おみやげの配布と、終始にぎやかに運び、再会を約して散



交を温めた。常連の1、2名が体調不良のため不参加となったのは残念である。懇親会後、麻雀、カラオケに興じ、13日には数名がゴルフ場に向かった。

今後とも毎年5月の連休明けに実施することになっているので、ふりって参加されたい。

酒井克己（16回）

21世紀に21期生会

第21回生同期会

秋晴れの快晴の日、平成15年10月25日（土）に昭和30年卒業以来初め

会となりました。

ここに大城戸武子幹事長から寄せられた短歌を一句掲げます。

喜寿を生きて

性格そのままに相違いぬ

五月の芦屋

去りがてぬかも

土井和賀子（13回）

あこがれの「利尻・礼文」へ

14期生同期会

数年来、次は「利尻・礼文に行く」と話題になっていた「北の島」への旅行がついに実現した。

6月9日10時前伊丹空港を飛び立



った私たちは、千歳経由で利尻へ。早速島内一周の観光に出発、利尻富士を北・東・南・西と360度いろんな角度から眺める。かつて「ニシン」で栄えた漁村（今はコンブ）を通じて静かな「姫沼」で一休み、利尻岳が一番美しく見える利尻マリンホテルに落ち着く。

2日目はフェリーで礼文島へ移動、北端のスコトン岬から観光がはじまる。曇り空で風が強い。昨日美しい姿を見せてくれた利尻岳は霞んでシルエツト、これもまた風情がある。スコトン岬から南に向かい、憧れのレブンアツモリ草の群生地へ。柵があって近寄れないが、十分観察できるし、写真も撮れる。レブン森林の丘ではおいしい空気を吸いながら高山植物に出会い、スカイ岬では強風に飛ばされそうになる。途中、漁協で生ウニを自分でむいて試食するはじめての体験もした。利尻・礼文は観光シーズンなのでホテルは超満員、海の珍味あふれる夕食に大満足の日であった。

3日目はいよいよ高山植物の宝庫、桃岩周辺のハイキング。整備はされているが、かなり高低差のきつい山道を約2時間、一面に咲き乱れるひそやかな高山植物に歓声をあげる。花図鑑を見ながら覚えるのに一苦勞。レブンソウは少し遅かったかな、ハ

てオール21期生会を母校の同窓会ホールで開催しました。

11時に近畿をはじめ北陸、中国、関東と全国各地から32人の学友達が次々と登校、卒業以来初めて訪れた母校のあちこちを見学散策、思い出の資料「回想」を手にしつつ、再会した学友と握手歓談懐旧談にふけり全く様変わりした母校の変ぼう発展にうたた感慨無量、歳月を感じた一刻でした。

13時から50周年記念館7階の同窓



大阪経済大学 第21回生同期会

会ホールで藤本周一人間科学部教授、田所清市元事務局長、陰下同窓会相談役、水納同窓会事務局長のご出席を頂き同期会を開催しました。

大学創立の年、昭和7年生まれの21回生はまさに大学と共に激動70年の歴史を歩んできたことになりすが、宴、歓談たけなわのうちに参加者一人一人から半世紀前の学生生活を回想しつつ今日の健在の自己紹介、いつの間にか定刻の5時近く、最後に母校の創立70周年を祝って参加者一同から大学に「お祝い金」を贈呈し、学歌、逍遙歌を高唱しつつ、「また次回に」と握手しつつ惜別の思い深く散開しました。

参加者は左記の32名でした。

赤松（河野）・青木・秋山・井上・大上・岡野・小崎・後藤・笹井・清水（二）・清水（庄）・重久・杉本・田中・田村・高橋・中村・畑・濱田・伴・丸岡・三上・宮原・保野・山口（平）・山口（義）・柚木・若林・尾崎・松浦・松村

藤山忠久（21回）

23期生の集い

23期生会

今年で連続19回目の集いとなりました。水納同窓会事務局長をお迎えして、ご挨拶で学校と同窓会の現状



をお話し頂きました。出席者は28名で、初出席は小澤氏、福田氏の2名でした。

卒業して45年を経過し、大部分の人が第二の人生に立ち向かっております。皆様に現況を話してもらったが、健康第一ということで趣味を生かし、友人と話す機会を多く持つようになっているのが良くわかります。和気あいあいの楽しい1日でした。

なお、当日都合が悪くて、また健康不具合で欠席された人達のメッセージは全部コピーして、出席名簿と共に配布しました。皆懐しく読んでおりました。来年は20回目となり、2月15日を予定しています。是非皆様の元気なお顔を拝見したく、お待ちしております。

酒井弘光(23回)

平成15年度総会および懇親会開催

柔道部OB会

去る平成15年3月16日(日)、母校本館3階大会議室において平成15年度の総会を開催する。今回は小雨の降る中、富山市より早川由次(7回)大先輩を始め、鳥根県より宮原史郎先輩(21回)、愛知県より三輪忠昭君(25回)、および鳴門市より田中良昌君(26回)等々、遠方よりの参加を



始め各地より56名の参加を得て開催。

石橋事務局長の開会宣言と司会が始まり、吉田OB会会長の挨拶の後、議事に入り、中田副会長より14年度の事業報告、小笠原会計より14年度の会計報告、石津・藤田両監査役より監査報告があり、いずれも出席者全員異議無く承認される。

続いて内田副会長より15年度の事業計画案について、小笠原会計より15年度の会計予算案について説明があり、承認可決する。

引き続き吉田OB会会長より、東京地区におけるOBの数が増え一部のOBより東京支部が連絡場所を設けて欲しいとの要望があることを報告、この件について図つたところ、

ました。
記念式典終了後、約200名の参加者のもと祝賀会に移り、渡邊学長をはじめご来賓の方々からご祝辞を頂き、続いて長年お世話になっている顧問の八木田教授へ感謝状の贈呈を行い、また、空手道部を創設された初代の先輩(1期生・田中先輩、笹井先輩、新堂先輩、山根先輩)に対して感謝状の贈呈を行いました。

祝宴は話が尽きることなく予定時間が過ぎ、最後に鈴木前OB会会長の閉会の辞で今後の空手道部の活躍を誓い、祝賀会を無事終了しました。

吟詠部OB有志集う！『吟詠部魂今なお健在、ますます意気盛んなり』

吟詠部OB会

平成14年11月16日、経大吟詠部昭和44年卒部生を中心に岡山県の「かんぽの宿彦山」に33年ぶりに17名が集いました。わが吟詠部も時代の変化とともに、部員少数となり、部の存続危機の状況にある中、吟詠部創部当初の最盛期のメンバーが集まり当時の思い出話と今を語り合い、以って明日への活力源を得るとともに、現役部員への支援策を議論いたしました。

名簿を練りますと、OB数は25

「硬式野球部OB会」のご案内

硬式野球部OB会

当会のご案内は初めてかと思えますので、今回は概要についてご案内いたします。

1 OB会事務局

〒530-0056

大阪市北区兎我野町2-4

(株) サンライズプロ

寺井真澄君(30回)を東京地区担当の常任幹事として、同君の経営するアオイ機工(株)の事務所を連絡場所とすることで承認可決し、逸見副会長の閉会の挨拶で総会は散会となる。

この後場所を同窓会館の7階会議室に移し、OBの親睦会および現役卒業生と新入生の歓送迎会を併せて行う。吉田OB会会長の挨拶、大橋部長先生、西岡師範の挨拶の後、宮原先輩の音頭により乾杯を行う。

宴の途中で児玉監督より、現役の試合成績と現況および今後のスケジュール、卒業生と新入生の紹介があり、その後富山市より出席された早川大先輩より昭和商柔道部の熱血魂の訓示と激励の言葉をいただいた。

最後に逸見副会長の閉会の挨拶の後、全員で学歌、追送歌、柔道部遠征歌を合唱して散会する。

吉田文雄(24回)

初参加も交え和やかに

第18回寄多郎会(柔道部OB会)

昭和60年に発足した寄多郎会、当初は年々会えなくなるとの思いから、毎年開催することを決定したが、今年まで最初のメンバーが1人も欠けることなく18回目を迎えることができたことは、何よりも素晴らしい限り

代表取締役 松崎駿介(36回卒)

TEL06-6312-9045

2 母校「硬式野球部」所属連名 関西六大学野球連盟「六魂球心」事務局

〒532-0052

大阪市北区南扇町6-28

水道局旧庁舎内

TEL06-6130-7518

FAX06-6130-7519

3 会員数

約500名、名簿発行(現在更新中)

4 活動内容

会員相互の親睦、母校硬式野球部への支援並びに連盟への協力

5 母校への支援

監督1名、コーチ1名派遣、経済的支援他

6 連盟への協力

常務理事(事務局長)1名、代表理事1名、理事5名、監督理事1名、審判部長1名、審判員8名。現在、母校よりの派遣は以上ですが連盟の中核として責任を果たしております。

7 課題

母校硬式野球部の優勝、母校硬式野球部並びに連盟に対する「人的及び経済的」支援。とても会員相互の親睦までいきません。

以上概要ですが、引き続き全国同窓生皆様のご期待にそうべく頑張りますので、ご声援並びにご協力ください。

りです。

平成14年は明石海峡の近くの舞子ビラ神戸にて11月23、24日の両日開催しました。今回は神戸での開催ということで、出席者も20名と多数の参加で、1年振りの友や卒業以来初めて会う友も加わり和やかに行われました。宴会後も1部屋に集い、学生時代の頃や現在の大学の話題等で夜遅くまで続けました。

翌日は舞子海上プロムナードにて世界の釣り橋から明石海峡を展望し、また中国の革命家・政治家・思想家である孫文を顕彰する日本で唯一の博物館である孫中山記念館を拝観して、近くにて昼食のあと再会を誓って解散しました。全員の健康と無事を願いつつ。

三輪忠昭(25回)、的埜淳(25回)

創部50周年記念式典を盛大に開催

空手道部OB会

平成14年11月9日に「空手道部創部50周年記念式典および祝賀会」を由緒ある太閤園にて開催し、大学から渡邊泉学長、同窓会から津秋副会長、体育会連絡協議会から鮫島会長、志水事務局、その他多数のご来賓の方々に出席を頂き、OB会メンバーが参加のもと盛大に催すことができた

さるよう、よろしくお願い申し上げます。 代表 滝重一(23回)

40周年を迎えて

マンドリンクラブOB会

今年、マンドリンクラブは、創部40周年の節目を迎え、現役学生ががんばってくれています。

OB、OGとしてより良い環境作りをサポートしていきたいと、年4回(4月総会)の理事会を含め、現役との交流を図っています。

年月が流れ人が変わっても、マンクラに引き継がれている伝統、心意気とかを、現役を通して垣間見ることができるとは、非常にうれしくなつかしく思います。

継続こそ力なりの言葉どおり、50年、100年とマンドリンクラブが続くことを願い、その一員である自覚を持ち、400数名の微力なOB会ではありますが、がんばっていきたいと思います。

川口浩(42回)

ワンダーフォーゲル部OB紀行

ワンゲルOB会

「夏休み広大な自然と遊びませんか、奈良大杉谷20キロ」



中国の四書五経の1つに春秋がある。春秋の筆法とは些細なことでも大局に関係があるとして、遠慮せず加える厳正な批判という意味もさることながら、この会は春秋に富むの意にあるまだ年が若く、先が長いと解釈していただいたほうが良い。

すなわち各界において今後の発展を大いに期待し、例えば経済界では上場企業を目指すか、業界でのオン

春秋会とは

春秋会

堀 哲雄 (36回)

夢現都市」をめざしてスタートしました。平成16年8月には市制50周年を迎えます。各種イベントを計画していますので、是非一度、川西市へお立ち寄りください。



独立総合部の掲示板に公募して久しぶりに、ワンゲル部ただ1人の4回生三好君をリーダーに、経大ワンゲルOB会および有志数名で挑戦いたしました。

大台ヶ原日ノ出岳から滝9カ所、吊り橋8カ所を黙々と下降します。実に30年ぶり、木の吊り橋は鉄筋の吊り橋になり、登山道も木道の階段ありで、とても歩きやすくなっていました。途中常倉の滝と与八郎の滝の間に無名の滝という素晴らしい滝に遭遇した時は、皆ため息まじりでした。崖っぷちを鎖を頼りに歩き続け、山小屋に着いた時、満天の星と手の切れるような冷たい清流は、我々を自然の中に吸い込んでくれました。とても良い夏休みでした。

経大ワンゲルOB会は、月1回の山行(てくてく会)に挑戦しており



退官された上島先生を囲んで

上島ゼミ同窓会

ます。毎回15〜25名くらいの盛況ぶりです。ご希望者はぜひ参加ください。

ところで現役ワンダーフォーゲル部の現状は、ただ今部員1名、部予算0円と寂しい限り。私と三好(現役リーダー)で現役部員獲得に奮戦中であります。全国のOBの皆さん、部存続のために何分の応援お願いいたします。

桑原勇臣 (32回)

本年3月末に大学を定年退官された上島武先生をお祝いする会を、6月15日父の日に開催しました。会場

リーワンになるか、自治体および自由業で活躍される方々は、貢献とは何ぞやを命題としてがんばっていただきたいのが主旨で発足して10有余年を経て全国区化した。

同窓会の一員としてその絆を大切に切磋琢磨し、大学発展に寄与してまいる所存である。それには若い人達のご理解と春秋会への参加意識を期待して止まない。

西山昭吾 (16回)

定期総会及び研修会報告

税理士大樽会

第12回定期総会が去る平成15年7月12日(土)に阪急ターミナルビルにおいて開催されました。

総会に先立って午後3時30分より弁護士宮坂益男先生を講師として招いて、「倒産の法律実話」(民事再生法)をテーマに1時間30分ご講演を頂きました。宮坂先生には倒産、任意整理から民事再生までの概要から手続きに至るまで、すべてについてこと細かく懇切丁寧にご教授いただき、バブル崩壊後倒産が増え続け我々税理士業務にとって民事再生、会社の再建という実務がより密接なものになっている中で、大変参考になりました。

午後5時より定期総会が開催され、

は、上新庄駅前、割烹料理「川里」。京都の高級料亭「嵐亭」元料理長の本格懐石料理を楽しみました。

会は「上島ゼミ」一期生・来田さん(32回卒)の乾杯の発声で始まりました。

大経大で40年間にわたり教職に就かれた上島先生は、「自分はラッキーなことに浪人の経験がありません。これからフリーな時間を自分の勉強に使ってみたいと思っています」と話され、いつまでも研究に打ち込まれる先生の姿勢に、背筋が伸びる思いがしました。

先生の近著「ロシア革命・ソ連史論」カウツキーからドイツチャーヘン」窓社・発行を、出席者一人ひとりに先生が手渡してくださいました。みんな夏休みの宿題をいただいた気分になりましたが、レポート提出がないのでほっとしました。先生、「夏休みの宿題」にさせていただきます。会の締めくくりは近くのカラオケボックスへ。学生時代に帰った気分、歌い、飲み、大騒ぎをしました。

今回参加できなかったゼミ同窓会のみなさん、また先生を囲んで楽しい時間を過ごしましょう。

上島先生、これからもよろしくお願い申し上げます。

中山正樹 (45回)



諸議案すべて異議なく承認されました。中でも本学会計学の「中小企業の会計基準」に関する研究会への参加、また税理士大樽会主催の研修会への現役学生等の参加等議案が提出されました。今後税理士大樽会と大学、学生との交流を増やし積極的な活動を行っていくと思います。

引き続き午後5時30分より懇親会が行われ、落語家を招いて楽しい一時を過ごし午後8時ごろ閉会しました。

堀田 治 (48回)

体育会連絡協議会の現況

体育会連絡協議会

1 運動能力の優れた大学生の多

川西市の現況

川西市役所大樽会

本会は、川西市役所に勤務する職員と市に関係する仲間の親睦会として、昭和48年にスタートしました。現在、会員数は30名余を有し、年1回総会を開催して親睦を深めております。今年の総会は1月24日に19名の参加で開催され、陰下先生をお招きして大学の近況をつぶさに報告していただく中、会員相互も様々な思いを語り合い、盛会裡に終了しました。

川西市は、今年、これからのまちづくりの指標となる第4次総合計画を策定し、「わがまちと 実感できる



- 数かつ継続的確保
- 有能な指導者の密着指導
- 適切な練習場、練習時間の確保
- 豊富な活動資金の確保と適正使用

右記をかげ発足して2年半を経過した「体連協」であるが、その成果は芳しくない。

設立当初は身がまっていた学生部・入試部に対し、文書や対話によりある程度の理解を得ることはできた。しかしそれはあくまでも担当部門としての理解であり、元々スポーツを軽視している教授会までには浸透していない。

学生確保の源であるスポーツ推薦入学総枠は、70名で従来と変わりなく、「体連協」の要望している100名枠には程遠い。

一方運動部の活動状況を見ると、硬式野球・ラグビーは低迷、陸上競技も目立たず、'01・'02年関西連統優勝・西日本準優勝のハンドボールも'03年春は関西3位・西日本は決勝トナメント2回戦敗退と惨憺たるもので、スポーツによる大学の知名度アップどころではない。

「体連協」はこの八方塞がりの状況を何とか打破すべく、今後目標に向かって地道な努力を続けていく所存である。全国の同窓生諸兄姉の

Seminar

先生方からのメッセージ

Report

ゼミ短信



みなさん、お元気ですか。『シン
グル化する日本』（洋泉社新書）と
『スピリチュアルシンクル宣言』
（明石書店）を出版しました。ボラ
ンティアで『自殺防止センター』
にかかわっています。スピリチュ
アルケアということに関心をもち、
ホスピス関係の人たちと交流して
います。短い人生、死から逆に考
えて、充実した毎日を。他の人を

伊田 広行先生

近況

こんな付き合いも含めて、昨春
から毎月、雑誌『技術と人間』に
「現代書生かたぎ」を連載している。
私の近況報告でもあります。
連絡ください。
吹田市山田西3-52 C721

池野 しげお先生

1KUちゃん、 ありがとう

ゼミ合宿の帰りに卒業生1人と
落ち合った。「先生、お誕生日おめ
でと」。6月5日の55歳の誕生日
を祝ってくれた（彼女らとは二回
りの年齢の差である）。美味しい寿
司を奢ってもらい、お礼に喫茶店
でケーキセットを共にして近況を
聞かせてもらった。

池野 しげお先生

至福の時

稲場 紀久雄先生

教員の至福の瞬間は、ゼミ卒業
生が誇りを持って仕事に打ち込ん
でいる姿を見た時だ。私はこの8
月、老舗の石材店を継いだ竹原教
男君と僅か2日間だったが、一緒
に仕事をし、至福の瞬間を感じた。

私は、この1年、奥多摩山中の
ある峠に石の祠を建立する計画を
進めて来た。竹原君の石工としての
真剣な姿は、直ぐに村人達の信
頼を勝ち得たのだった。私は嬉し
かった。彼の仕事に関する造詣の
深さ、熱意、誇りに深く敬意を表
した。

科目が増えて 忙しい毎日

梅原 英治先生

地域政策学科が2年目に入り、
担当科目も大幅に増えました。春
学期科目に公共政策・財政学・自
治体実習・基礎演習Ⅱ、秋学期科
目に財政政策・地域政策オープン
カレッジ・基礎演習Ⅰ・演習Ⅰ、

ギャラリーのご案内

長田 寛康先生

70周年記念館の1階に、KEI

研究とその成果の 社会への還元

大橋 範雄先生

4月からの1年間は内留で研究
に集中しています。6月3日、突
然参議院厚生労働委員会から「職
安法、派遣法改正」についての参
考人陳述を要請されました。学問
研究の社会への還元も必要と思い、
'99年法改正時の衆議院調査局から
のヒアリング要請に続き、156
国会で意見を述べてきました。次
回改正時には私見が若干参考され
るかもしれませんが、やはり学者
は基本的には研究に集中すべきだ
というのが私の持論です。

http://www.osaka-u.ac.jp/zenji/
umehara/



一層のご支援をお願いいたします。
鯨島 圭（18回）



大樟教育研究会の初代会長に
高橋努教諭（34回卒）を選出
大樟教育研究会
第3回大樟

場の教職員と大学の教職員による多
方面に渡る教育問題について熱心な
研究協議が行われた。

本年度の研究會から、従来まで行
われてきた高等学校の先生と大学当
局による研究会から、大学及び同窓
会の尽力により、対象を小学校、中
学校、養護学校、教育委員会に勤務
される700名に及ぶ同窓生教員に
まで校種が拡大されて開催された。

総会では、研究会開催の経過報告
や役員幹事12名の紹介と共に、初代
会長に富山第一高等学校教諭の高橋
努氏（34回卒）が選出された。

高橋努氏は、昭和43年に経営学部
（井上清ゼミ）を卒業され、高岡法科
大学大学院法学研究科修士課程法学
専攻を修了されてから今日まで、永
年にわたって高等学校教育に係って
これ、生徒の健全育成と能力伸長

大樟教育研究会幹事名簿

卒回	名前	勤務先校
34	高橋 努	富山第一高校（代表幹事）
24	奥本 敏雄	清風高校
32	真鍋 一美	今治北高校
30	柏原 知博	京都成安中学・高校
44	宮本 勝	姫路商業高校
36	杉本 達治	岬中学校
36	山本 仁史	日新中学校
42	山口 昌孝	春日出中学校
44	金川 一	大宅中学校
39	篠田 一三	鈴原小学校
修士52年	中南 勲	南五葉小学校
43	西村 幸雄	吹田第三小学校

45年の歴史になります

竹中工務店大樟会

竹中工務店へ入社した仲間と同窓
会の集いを始めたのが昭和33年です

や開発のために様々な教育活動を行
ってこられた。
また、本学法人評議員として、変
化の激しい現代社会の中で、これま
で大学に対して、入試を初めとした
教育研究や管理運営事項に関し、改
革の提言や要望を積極的に展開され
てきた。
来年度以降も「大樟教育研究会が
益々充実し発展するため努力したい」
とされ、同窓生各位の一層のご理解
とご協力を要請されていた。

から、もう45年の歴史になります。
今では竹中グループにまで拡大し42
名の会員数で、うち定年等の退職者
が14名、現役が28名です。原則年1
回の開催で新規入社した後輩の歓迎
を兼ねるのが通例です。
来年4月には初めて女子学生が入
社してくると聞いていますので、恐
らくかつてない盛大なイベントに発
展するものと期待しています。現役
組は先輩のユニークな体験談を聞く
のを楽しみに参加する人が多く、従
って定年退職者にも断つことなく参
加案内をしている現状です。今後と
もこの会を発展継続していくために
は、同窓会事務局との連携が不可欠
だと思いますので、引き続きよろしく
ご指導ください。

船引洋生（30回）

母校との一体化に挑戦

日立大樟会

日立大樟会は同窓会会長としてフ
エアとオープンそれにスピードを基
本理念にらつ腕を発揮中の田中富三
（18回卒 元日立金属副社長）氏を筆
頭に、31名の会員で構成しています。
経大のご縁で日立の同胞になったメ
ンバーは、先人の教えに従い貴重な
教訓やノウハウを大切に踏襲しつつ
毎年当校から後輩を入社させること



をモットーとしております。幸いに
も今年度は金属商事に1名が内定し
ています。なお大学との連携の一環
であるインターンシップでは、金属
商事の受け入れを手始めに、第6回
目の今年度は日立キャピタル、日立
ラント、日立システムアンドサービ
スと広がり381名の受講生の一翼
を担いました。また第一線で活躍中
の「OBと学生の対話」では、日立
金属から国代、三神の両氏が参加し
て在校生に対して元気づけのお手伝
いをするなど、母校との一体化に挑
戦中です。

国西良昌（29回）



DAIギャラーがあります。今年は、同窓生にお願いをして、成田一徹氏の「切り絵展」、岩谷宣治氏の「なつかしのカメラ」を開催し、好評を博しました。また11月4日、14日には陶芸作家である古野幸治氏の作品展を開催予定です。同窓生の方であれば、プロ・アマを問わず施設の利用ができますので、ご希望があれば、気軽に同窓会にご相談ください。

グラスミアの湖畔で

片山 麻美子先生

英国文学の授業で、ワーズワスの「水仙」や「虹」の作品を読んだことを覚えていますか。今年、彼の故郷である湖水地方に行き、初めて研究発表をしました。ヒースの花が山々を薄紫に染め、風にさわさわと揺れる木々が美しい湖畔の村でした。学会は2週間英語話めの毎日で、すべてが理解できるわけでもなく緊張しました。最良の思い出は、湖の真ん中の島へみんなボートを漕いで渡り、丘の上でひとりひとり詩を朗読したところ。青空の下、力強い詩の調べに身をゆだねた至福のひと時でした。

学生のレジュメ

加藤 久明先生

今年4月に大阪経済大学経営情報学部に着任いたしました。専門は会計学で、とくにリース会計の研究をしています。ゼミを運営しているの難感ですが、最近、学生のレジュメの作り方が大きく変わってきたように思います。参考資料は主にインターネット上の情報で、Webページをそのままコピーしてあることも少なくありません。図書館で精読し、不器用ながらに筋道を立ててまとめるという事は、もう時代遅れなのではないでしょうか。

秋の到来

草野 真樹先生

今年は冷夏だと言われつつも、大阪では8月下旬から9月中旬にかけて残暑の日々が続いた。そんなある日、ワークショッップに出席するために青森へ行った。青森はとて涼しく、朝晩はジャケットを着用しないとむしろ寒いぐらいであった。澄み渡る空の下、睡蓮沼から眺める八甲田山は本当に美しく、すでに秋の到来を告げていた。

一足先に秋の訪れを満喫した。

心理臨床的な教育

黒木 賢一先生

人間科学部に赴任して1年半が過ぎる。大学教育に携わるまでは、開業臨床心理士としてカウンセリングを行ってきた。不登校から統合失調症と呼ばれる人たちの治療である。カウンセリングは1対1の関わりであるが、大学での授業は1対多であり、その違いはある。しかし、教室での多くの学生を1人の人格として捉えてみると、教育も心理臨床も同じではないかとふと連想が沸いた。それは「二期一会」としての魂の場が教育である。

北朝鮮に拉致された日本人を救出するために

黒坂 真先生

私のゼミを卒業された皆さんはご存じと思うが、私は数年前より、北朝鮮に拉致された日本人を救出する運動に参加している。横田めぐみさん、有本恵子さんら北朝鮮に拉致され、20数年間も抑留されている日本人の救出は、我々の世代の日本人が果たさねばならない国民的課題であると信じ、署名運

「地域の政治と経済」をテーマに

桑原 武志先生

私は2002年度に本校へ着任いたしました。講義は、都市経済論・中小企業政策を担当しています。ゼミは、3回生を頭に、地域政策学科の2年生、1年生のゼミを担当しています。私のゼミでは、「地域の政治と経済」をテーマに、市町村合併や東大阪の産業集積について、共同・個別研究を進めています。おとなしくまじめなのが、大経大の学生のよさといわれていますが、ゼミ生には、自分の意見を持ち、活発に議論できるようになって欲しいと思っています。

桜井三枝子ゼミ生へ

桜井 三枝子先生

不況やリストラの厳しい世界で皆元気にサバイバルしています

ゼミ生といきまわってみたい

藤本 高志先生

経大へ移って3年目です。研究しかしてこなかった私が、教育に携わるようになりました。ゼミでは、学生が環境や農業に関する課題を自由に決め、ローテーションで報告します。彼らの成長には驚きます。文章がまとまってきたし、自分で現地調査にも出かける。今年のゼミ合宿では、伊勢神宮へ寄りました。就職祈願をしたいと言うのです。将来のことを真剣に考え出したのでしょうか。彼らといっしょに、私も多くのことを学べました。

ゼミ生に感謝の気持ち

藤本 義治先生

大阪に久しぶりで戻ってきました。ゼミのOBはまだおりませんが、現役ゼミ生と楽しくやっています。

学生に持つ印象は、おとなしく地味な感じですね。昔の我々(30年もたったのですが)に似かよった感じがして、とても好感を持てます。勉強は、昔の我々の方が積極的だったかな。これも時代の流れなのではないでしょうか。

着任の挨拶

城 達也先生

本年4月より、本学人間科学部に助教として赴任致しました。専門は社会学、担当授業は人間社会入門やコミュニケーション論です。

人間科学部の他の学問分野と同じく、大阪経済大学に新しい専門領域を切り開いていきたいと考えております。どうかよろしくお願い致します。

還暦です

滝内 大三先生

今年、私は還暦を迎えました。高齢化時代の「老年期」は無為に

もう一頑張り

中尾 美喜夫先生

過ごすというよりも、新しい人生を生きて直す時が来たと考えざるべきなのでしょう。とはいえ、気力体力は衰える一方なので、少しでも新しいことにチャレンジしてみなければと思っています。最近、自分のホームページを立ち上げました。ヤフーなどで「滝内研究室」を検索していただければ見られます。よかったらどうぞ。

学徒出陣60年

永野 仁先生

2部ゼミ「近代短編小説」教養ゼミ「アンナ・カレーニナ」について、同・基礎ゼミ「きけわだつみのこえ」を10年続けてきた。

異国や過去の作品はビデオ、写真など映像に助けられて学生は実感する。私も年ごとに新たな気持ちで作品に接してアプローチの仕方がわかってきた。過去と現代との格闘！

今年は学徒出陣の60周年です。当時のことをご存知の方はぜひご一報ください。今わかってるのは南繁年氏のことだけです。



理事会・支部長会

定年を迎えて

松原 和男先生

2003年春、大経大での定年を迎えました。36年という長い歲月、その間にはいろいろなことがありました。ゼミの諸君との合宿旅行、学生ゼミナール大会への参加、ソフトボールなどは勿論ですが、私の研究生活を大きく変えてしまった大学紛争でさえ、今となっては懐かしい思い出になりました。

なお、特任教授として今暫く講義とゼミを担当しますが、幸い健康にも恵まれていますので、大経大のためにもう一働きたいと思っております。

インスタントメッセンジャーで近況報告

松本 良治先生

最近、インスタントメッセンジャーを使って、卒業生の何人かとやり取りをしています。誰かがサインインすると音で知らせてくれますが、たいがい夜半が多いので、こちらのテンポと合わないこともしばしばです。それでも近況などリアルな状況が分かるので、励ましたり励まされたりしながら楽しんでいます。

んでいます。一緒にやりませんか。

還暦の丁稚奉公

光田 基郎先生

昨春、「何事も堪忍」と徳島大から着任して1年経過。当学からの情報発信を、と授業では電算画面上での討議を多用、自分は4件の学会発表をしたものの、多様な学生への対処と心理学の世界の進歩に戸惑うばかりでした。今後とも大学間の生存競争、心理学関係の大学院設立や学生の進路の開拓など多端ですが、厳しい現実には耐えて、当学の心理学の教育と研究活動の展開に微力を尽くしたいと存じます。学外からのご助言と当学を卒業します学生へのご支援をいただければ幸いです。

汗牛充棟

六浦 英文先生

外国の文献は、買いそびれると後で入手するのに膨大なエネルギーを要する。文献がなくて、1行の引用ができないために、論文執筆をあきらめてしまうこともある。苦い経験から、1冊1冊本を買い続けて数10年。しかし気がつけば、増殖する書籍が居住空間を奪い、

客間も本で埋まってしまった。もはや客を招くこともできない。宝の山も、本人以外にはごみの山。「汗牛充棟」も貧しく狭き日本の住宅では、響壁を四文字熟語です。

ゼミのネットワーク

山野 紘一先生

今年(平成15年3月)当ゼミの初めての卒業生を社会に送り出しました。新3年生のゼミ生たちが卒業生のグループが研究開発したシステムを引き継いで、テーマをさらに発展させようと取り組んでいます。ソフトウェアシステムは、一気に完成度の高いものに仕上げることは非常に難しいので、このように先輩の成果を育て上げていくことを通して、ゼミの研究の継承と先輩のネットワークを作っていくものと期待しています。

私たちのお客様は一体誰だろうか…経営者に要求されること

吉井 康雄先生

今年2月末、突然「二部反対論者」として「担当科目の不開講および担当者の差し替え」の通知が

平成15年度同窓会理事会開催

平成15年度同窓会理事会は、さる6月28日大阪市北区のレストランパレスで開催され、平成14年度事業報告、収支会計報告を承認、平成15年度事業計画、同収支予算案ならびに規約改正案を可決し、理事会終了後、井阪理事長、渡邊学長ら学校関係者を招いた懇親会に移り、お互いの友好を高めた。

規約・内規改正案を承認

理事会では、まず田中富三会長から「会長就任以来、早1年を経過しましたが、私はつぎの2つの点を重点において取り組んでまいりました。そのひとつは、同窓会をよりフェアで開かれたものにするため、情報のスピーディーな公開が必要であるとし、年1回発行の情報誌『澱江』に加えて、学校当局が発行する『KEIDAI DAYS』(年3回発行)に『同窓会だより』を1ページ設け、さらに同窓会独自のホームページ開設、この3つを活用し、同窓会の取り組みや皆様方の活躍をお伝えしてまいりました。2つ目は、学校への支援体制であります。70周年事

まず、平成14年度事業報告、収支報告、監査報告を小谷総務部長、福元財務部長、植村監事から報告され、これを受けて白井理事から「70周年記念費916万円の明細は」との質問があり、水納事務局長から「学校への記念募金500万円、IT講習会240万円、同窓会功労者祝金120万円等です」と答弁、次いで中村理事から「平成14年度収支報告の中で資産の国債への移行という話がありました。購入時と現在の価格、その差額つまり利益金がどうなっているのか。国債の購入価格、手数料、特別基金勘定の利息明細を添付してほしい」との質問があり、福元財務部長から「企業会計とNPO会計とは作表形態が異なるので、

資料の添付は必要なしと考えます。帳簿等はいずれも開示します。ご提案については常務理事会で検討したい」と答弁、また規約改正案についても、貝塚理事から「以前から事務局強化を訴えてきたが、その成果が見られない。現にこの理事会でも議事録を取っているのか。会則第19条に企画部の追加と第29条に議事録を追加願いたい」との提案があり、小谷総務部長から「理事会において指摘された問題点については、今後の改定委員会で検討する」とし、議案は拍手にて承認、理事会を終了した。

理事会終了後、来賓として出席した井阪理事長から「大学の質的向上を目指し、学生の付加価値の増大、基礎能力の開発、マナーの向上を図りたい。また、実業家による先端技術論などを実施し、学生が自己参加するような授業を実現したい」と、さらに渡邊学長からも「ハード面の充実と同窓会の協力では完成した。今後はソフトの具体的充実を注ぎたい。さらに実社会からの要望もあり、産学連携の強化を図りたい」と、未来に向けた大学改革への強い意気込みを感じさせる。挨拶があり、一同拍手をもってこれを歓迎し、

懇親会へ席を移した。

平成15年度全国支部長会開催

さる6月7日大阪市北区のレストランパレスで平成15年度の全国支部長会が開かれ、開会に先立ちさきに急逝された朝倉進平泉南支部長に黙祷をさされたあと、田中富三会長から「昨年6月会長就任要請を受け、お引き受けして以来、同窓会活動は母校を愛す、善意の集団であり、フェアでオープンな会運営、それを可能にするスピード感のある情報の伝達、そのための同窓会誌『澱江』に加えてホームページの作成、『KEIDAI DAYS』に『同窓会だより』を掲載するなど積極策を講じてきました。もう一つは、井阪体制支援つまり大学支援であります。70周年記念ホール、国際交流会館、NB館の竣工といったハード面だけでなく、人間科学部の創設など70周年を境に、大学は今、大きな変革を遂げようとしております。しかし、本学の大学改革はこれからで、品格、品質の向上が必要です。同窓会では8月4日に大樽教育研究

スウェーデンにいる私あてに、E-mailされる。新1年生の24%が、急に不開講との説明があり、受講を断念したということである(6月にアンケート実施)。

30年の節目を前に

渡邊 泉先生

卒業生の皆さん、変わりはありませんか?今年の1月に渡邊泉ゼミと税理研究会の第2回合同同窓会「白水会」を開き、私の還暦のお祝いをしていただきました。1974年4月に初めて大阪経済大学の門をくぐって以来、来年で30年という節目の時を迎えます。今更ながら、時の経つ早さを実感しております。ようやく次の本の全ての章(全12章)が出そろいました。いくらか手直しも必要ですが、時間を見つけてまとめ作業に入りたいと願っています。

事務局だより

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深い御理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

編集子一同は、このご支援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です)

創立70周年 記念募金 ありがとうございました。

昨年9月30日に「創立70周年記念式典」が目出度く開催されました。

「経大は変わったな。動いているな」という声をよく耳にします。ご承知のようにR&Iの格付けではA+となりました。これは関西で初、単科大学としても初であり大いに誇りにしたいと思います。

募金委員会としては更なる学校の飛躍を願って平成17年4月30日まで引き続き募金活動を展開しております。昨今の社会状況は厳しいものがございますが、同窓生各位のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

本部役員一覧

2003.11.1現在

氏名	役職	卒回
田中 富三	会長	18
津秋 靖博	副会長	29
福元 輝雄	副会長	37
隈下 嘉典	常任相談役	16
水納 敏也	事務局長	25
國西 良昌	事務局長補佐	29
小谷 芳男	総務部部长	24
角本 喜八郎	総務部	27
神田 博	総務部	30
高塚 邦夫	総務部	41
森川 義一	広報部部长	25
福地 利仁	広報部	39
山内 淳子	広報部	47
藤原 広太郎	広報部	54
福元 輝雄	財務部部长	37
梶村 貞男	財務部	37
市原 幸恵	財務部	42
佐藤 武司	組織部部长	30
太田 一澄	組織部	17
宇藤 博文	組織部	28
福田 耕	監事	16
植村 祐三	監事	32
大西 健介	監事	35
磯野 斉	名誉会長	3
南部 俊一	顧問	9
桑津 昇	顧問	11

同窓会ホームページもご覧ください！

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくためにも「同窓会がいま何をしているのか」を知っていただき、参加してもらおうというねらいから、HPの作成に踏み切り、小さな情報でも会員の皆様にお届けしようということになりました。年間行事予定や掲示板などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。

HPは<http://www.osaka-ue-denko.com>をクリックしていただくか、大学のHP(<http://www.osaka-ue.ac.jp>)からもご覧いただけます。ご活用いただきご意見、ご感想をお待ちしております。

HPアドレス <http://www.osaka-ue-denko.com>



本部だより

まず、新しく誕生した宮崎支部の大盛豊一支部長の挨拶があった後、小谷尼崎支部長が議長につき、今回支部からも要請の強かった会則の見直し、改正案について説明があり、続いて国西常務理事から「第2次70周年記念募金運動をぜひ積極的に展開していただきたい。第一次の募金協力者は、残念ながら1899人。7万人近い卒業生の中で金額もさる事ながら悲しい限り。よろしく願いたい」と、また田中会長からも「支部の中で、これはという人がおられたら、私が直接出向いてお願いをするつもりです」と協力を要請した。また、鯨島体育連絡協議会会長、西山春秋会会長、高橋大樟教育研究会会長らの活動報告があつて支部長会を終了した。

平成14年度収支決算書 自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日

(単位: 円)

収入の部				支出の部			
科	目	決 算 額	予 算 額	科	目	決 算 額	予 算 額
前 期 繰 越 金		14,216,983	14,216,983	総 会 費		6,198,661	7,000,000
会 費 収 入		63,624,000	60,000,000	役 員 会 費		1,279,289	3,000,000
総 会 収 入		891,000	800,000	支 部 費		8,451,685	8,500,000
利 息 収 入		5,354	50,000	事 務 費		452,802	1,000,000
澱 江 収 入		695,700	500,000	人 件 費		7,535,660	7,800,000
名 簿 収 入		213,690	200,000	旅 費 交 通 費		3,573,060	4,500,000
雑 収 入		20,800	0	広 報 活 動 費		16,656,044	17,000,000
				名 簿 調 査 費		2,228,233	4,000,000
				学 対 費		2,171,039	6,000,000
				諸 会 助 成 費		1,264,043	1,500,000
				慶 弔 費		248,896	500,000
				70周年記念事業対策費		9,160,572	10,000,000
				予 備 費		0	4,966,983
				次 期 繰 越 金		20,447,543	0
合 計		79,667,527	75,766,983	合 計		79,667,527	75,766,983

平成15年度収支予算表 自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日

(単位: 円)

収入の部				支出の部			
科	目	予 算 額	摘 要	科	目	予 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金		20,447,543		総 会 費		7,000,000	
会 費 収 入		55,400,000		役 員 会 費		2,500,000	理事会・常務理事会・各支部
総 会 収 入		800,000		支 部 費		9,000,000	運営費・支部総会援助
利 息 収 入		5,000		事 務 費		1,000,000	
澱 江 収 入		500,000		人 件 費		7,800,000	事務局人件費
名 簿 収 入		100,000		旅 費 交 通 費		4,500,000	
				広 報 活 動 費		19,000,000	
				名 簿 調 査 費		3,500,000	
				学 対 費		6,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
				諸 会 助 成 費		1,500,000	諸 会 援 助
				慶 弔 費		500,000	
				70周年記念事業対策費		5,000,000	
				特別基金繰入金支出		5,000,000	
				予 備 費		4,952,543	
合 計		77,252,543		合 計		77,252,543	

インターンシップに行って、 分かったこと

INTERNSHIP

そろそろ進路のことを決めよう…。
今回、インターンシップ実習に行ってきた
現役3回生に、実際経験して思ったこと、
これからの就職活動への意気込みを
聞いてみました。
4人とも、以前よりずっと
確かなビジョンを作れたようです。

司会：インターンシップ実習へ参加する前の印象について聞かせてください。

林：初めは「インターンシップ」に行くって言うても軽い気持ちで参加していたので、こんなに厳しいものだとは思わなかったというのが正直な感想です。

橋：私は進路として、就職が会社の営業が家業を手伝うという選択肢をもっていて、就職については割と考えている方でした。だからインターンシップを利用して、興味のある世界を経験してみたいという前向きなイメージがありました。

八木：高校生のときに学園新聞を作ったりして、訪問した会社に近いような作業を経験していたつもりでした。実際の業務ではどんなことしているかなあというのがインターンシップでは確認できそうだったので参加してみました。

山口：私は入学時からこの大学にインターンシップ制度があるというのを聞いて、有名な企業のインターンシップに関われたらと思う、希望業界めざしてチャレンジしました。

司会：実際、行ってみてどうでしたか？

林：会社で働くことイコール人間関係だと感じました。仕事の内容とコミュニケーションの活用を目的の当たりになりました。

八木 達徳君 経済学部
インターンシップ先
(株)総合企画 昌盛館



神戸生まれの神戸育ち。
地元を愛しています！

になりませんでした。それがプロとアマの違いですかね。

橋 明菜さん 経営情報学部
インターンシップ先
ブルームینگ中西(株)



新聞は大切でした。
日経、真剣に読んでいます。

山口：私は金融系に興味があつて、特に今回行った研修先は実際就職するのは難しい大企業だと思ったので、それを理由にあえて選びました。顧客情報を始め、機密事項も多かったので実際の業務に携わるということはなかったのですが、「私たちが会社を支えている」という、自負心がだれにでも漲っていて、驚きました。朝から晩まで忙しんでいるのですが、気持ちの面で苦にならないという環境もあると思いました。

橋：私は逆に社員の人とマンツーマンで、あちこち営業先に連れて行ってもらったり、行かされたり。「先にごそこへ行っておいで。後から追いつく」と言われました(笑)。名刺交換もかなりしました。まさしく営業、フットワーク

林：甘えた自分の生活を振り返りました。社会人は忙しいですから、仕事も遊びも集中する。これがうまくできる人が仕事のできる人なのかあと。それにしても、改めて思ったのは、学生っていっぱい時間があるのに、勉強せえへんなあ。(笑)。「学生」やのに！会社の人には社会人になってからのほうがはるかに勉強するって言うていました。

司会：それは実感しますね。私も全くそうでした(笑)。

山口：学生って好きな人間関係で生きていけますが、社会人はそうはいかないですね。なんとなく実感しました。

司会：さて最後になりましたが、今後の就職活動に向けて、ひとことどうぞ。

や量はともかく、それに尽きるかと。あと社員の皆さんの時間の使い方に圧倒されました。無駄はひとつもない、ONもOFFも有効に使えという精神が徹底しているような感じさえました。確かに仕事は限られた中で何がどれだけできるかも大切だから、当たり前かもしれないですね。

橋：私は就職活動や働くことには人間性やコミュニケーション能力が大切だと思っています。インターンシップの事前教育授業で、活躍されている経大OBの方から話を聞いたりしていましたが、現場ではそれを実感できたというか。私は営業職が自分でも性格的に向いているかなあと思っていましたが、それを確信できたものの、今は知識も技術もないということも痛感しました。

八木：地元密着ミニコミ誌作成会社のインターンシップに参加したのですが、やはり私も知識や技術のなさを実感しました。実際クラアントと話をしたのですが、私では話題が途切れてしまうのです。それに比べて社員さんはどんな状況においても良い形になるようにオールラウンドで対応することができました。自分が高校生の時にやっていたこととははるかに比べ物

林 辰郎君 経営学部
インターンシップ先
(株)日興商会



甘えた自分自身を
変えることができた。

林：まさしく今から就職活動という時期ですが、この時期をも「時間を有効に使う」ということでしょうか。活動中はアクシデントもあります。それにめげず、壁を乗り越えます。

橋：自分に欠けているもの、必要なものがよく分かりました。自分の考えの甘さも。それを補い、インターンシップで経験したことを生かして、これから活動していきたいと思っています。

八木：私は地元が大好きです。インターンシップを経験して、やはりそう思いました。地元の発展に貢献できる仕事は何かを考えています。その情熱を持って、努力を怠らず、目標に向かって走りたいと思います。

山口：行った先で、学歴だけじゃないと言われました。個性が大切だと。個性というのが何なのか、

Voice OBも先生

～インターンシップ事前教育で 教壇に立つ～

インターンシップでは企業や自治体での実習に先立って事前教育を行います。現場の第一線で働く経大OBを講師として招いており、実際に講義していただいた3氏に授業の様子等をお伺いしました。

- 日本ジッコウ株式会社 代表取締役社長 佐藤 武司氏(30回卒)
社会の厳しさと言うものを見聞きしているせいでしょうか、学生の聴講態度は真剣そのもの。学生のうちに多くの知識を得てほしい。そうすれば自然と知恵が湧いてきます。それぞれ道は別だが希望を持ってがんばれば夢はかないます。
- ブルームینگ中西株式会社 営業部 柏崎 年春氏(53回卒)
大人数の前で話ができよい経験になった。400人全員のレポートを読んだが、学生の反応に手ごたえを感じました。前向きにがんばる人は社会のどこででも受け入れられます。
- 大阪バンドーベルト販売株式会社 総務部 垣尾 将貴氏(63回卒)
インターンシップに参加する学生が会社と言う場所に入りやすいように、専門用語を控えてわかり易く伝えました。人としての「相手を思いやる気持ち」を学んでほしいですね。

山口郁恵さん 経営情報学部
インターンシップ先
野村證券(株)



学歴とかじゃなくて
個性！

仕事とどう関わりがあるのかを知ったとき、道が開けそうな気がしました。「大企業だから〇〇」といった、イメージで決め付けていては、進歩もないんですね。これから真剣に考えます。

司会：ありがとうございました。



科目等履修制度

目指せ教職課程修得
いけなかった甲子園に
生徒を連れて行ってやりたい！



下川和哉さん

2003年69回卒 経営学部

大学在学中に2年間休学しアメリカの独立リーグでプレーしました。日本のプロ野球に入るための実績を作ったのです。帰国後、ダイエーと日本ハムの入団テストを受けている最中に肩を故障し、診断の結果、完治まで2年間と宣告されました。このためプロを断念し、新たに指導者の道に進むため母校で科目等履修生になったのです。

教職を取得するために再度通いだめた大学は、校舎も見違えるほど美しく新鮮でした。もともと、講義で発表することが大好きで、個人発表のある保険論は、大変楽しいものでした。一方、数値や計算式を多用する経済学系の科目は、硬式野球部のコーチもしている関係で、時に欠席せざるを得ず、ついていくのが大変です。

コーチ業と講義の両立には苦労がありますが、現役学生から教えられる機会も多く、この科目等履修生制度を活用し、ぜひとも将来教員となり高校野球の監督として甲子園に出場することを夢見て、勉強に指導に励んでいます。

科目等履修制度

「Javaを使ったホームページを立ち上げたい
『3気』でC言語に挑戦！！」



村井 晃さん

1975年41回卒 経営学部

同窓会の三重支部総会に参加した際に、経営情報学部の存在を知りさらに在学中でなくても受講可能な制度があることを聞きました。ちょうど勤め先を定年退職し、インターネットを始めてホームページを立ち上げており、さらに進んだ技術を独学で模索することに限界を感じていたので、C言語の授業の受講を決めました。久しぶりに見るキャンパスは、女性が多いので当時よりずっと華やかです。

春学期には、情報処理基礎実習IとプログラミングIを受講しました。前者では、みんなが採点する形式で自己紹介のプレゼンテーションを行ったのですが、思いもよらず1番になりました。「やっぱり先輩はすごい」など受講者のコメントもついてあり、まだまだやれると勇気づけられました。後者は、やはり難しかったのですが、視野も広がり有効だったので、後期も引き続き受講申請をしています。

同窓生の皆さん！人間だれでも『やる気』『活気』『元気』の『3気』があればいつまでも若くいられます、ぜひ一緒にがんばっていきましょう。
(私のホームページURL
<http://www1.ocn.ne.jp/~akira8/>)

同窓生のための 大学活用術

知的財産を社会に還元する多彩な活動。

「社会との結びつきを大切にする本学では、先進的な教育・研究の成果を広く社会に還元。社会人入学制度や各種公開講座など、多彩なメニューで生涯を通じた学習への取り組みを支援します。」

科目等履修制度



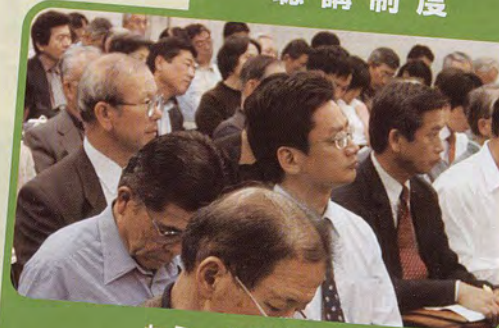
興味のある科目を選択して受講
必要に応じて
資格取得もできます。

オープンカレッジ



一般に開かれた
多彩な講師による特別講座を
開催しています。

聴講制度



もう一度学びたい、
無理のない時間帯と幅広い講義内容で
知的ニーズにお応えします。

公開講座



「開かれた大学」として、
多様なニーズに多様な講座で
お応えします。

●詳細は URL <http://www.osaka-ue.ac.jp/> 大阪経済大学 教務部 06-6328-2431 (代表)

1999年4月1日、兵庫県多紀郡の篠山町、西紀町、丹南町、今田町の4町（一般に丹波さやまと呼ばれる）が合併して、兵庫県で22番目、全国で671番目の市、篠山市が誕生した。兵庫県の中部にあり、北は氷上郡と京都府の天田郡、東は京都府の船井郡、西は西脇市と加東郡、南は三田市と川辺郡、大阪府豊能郡に接し、神戸市、京都市、大阪市の中心部からいずれも60キロ圏内にある。

JR福知山線、舞鶴自動車道、国道173、176、372号線が走り、自然環境の豊かな地域である。冬は日本海からの寒波の影響も加わり、寒気は厳しく、夏は高温で概して内陸型気候。秋から冬にかけては盆地特有の濃霧が発生し、この気候が日本一といわれる丹波黒大豆や山の芋を育てる。

丹波はまた陶器の産地でもある。「製陶業の家に生まれ、幼少の頃から土に触っていた環境だったから」と陶芸の道に進んだ理由を話された。「大学4年生の時、周りは就職活動であくせくしていましたが、自分は陶芸の道に進むのが当たり前で就職活動とは無縁でした」という。

ただ「時はバブルの走りて友人は給料をもらい、人生を謳歌して

夢をもつて考える「まちづくり」人生観やモットーについてお聞かせください

1つは、人間の能力には一定の限界がありますが、努力には限界がないということ。つまり自分の目標に向かって努力すればするほど今までの及ばなかったものが克服でき、良い結果が生まれます。

2つ目にはどんな困難な事態が起こっても、難しいことですが慌てふためくことなく、つねに普通に当たり前のことと対応する、つまり「凡事徹底」の心構えですね。

3つ目には、私達自治体も近年民間企業と同じく都市間競争で市民の方々が「まち」を選ぶ時代です。他都市のシステムをまねて目先だけの勝敗を決するということより、むしろこれからのまちづくりには「勝つことも大事ですがタサイと言われても夢をもってまちづくりを考えることが大事」です。「経営」という概念が求められています。つまり、企業が「物」を生産する場合、売上高だ、利益だと言っているだけではダメで、「世界一喜ばれる製品をつくりたい」と考えることです。

「世界一たくさん製品を売りたい」ではなく、夢に経済がついていく、その逆はないと思うことではないでしょうか。さらに夢をもつためには、つねに刺

自分が選んだ仕事に誇りを持つことが大切 後世に残るものを作りたい...

陶芸家（丹波焼窯元）

清水 一二氏（50回卒）

昭和59年3月大阪経済大学経営学部経営学科卒業



彼はいま陶芸教室の講師も務めている。集中できる、無心になれるという理由から多彩な職業の受講生が来られるとか。

実際に丹波独特の「登り窯」を

激をうけることだと思っています。端的に言えば、映画を見る、本を読む、芸術を鑑賞する、情報に対する欲望と関心を持つて新しく誕生したまちに行く。こういうことを日常的に行っているとストレスもたまず、いろいろな刺激をうけて必ずイメージーションが働くということ。

「逃げない」「いなかさなご」「あきらめない」

若い卒業生や在学生へ望むことはありますか。

20代後半から30代の皆さんは人生で仕事、個人の成長など一番大事な時期ではないかと思っています。そのための考え方の総点検として言えることは、

●課題が生じても言い訳せず「逃げない」こと

●帳尻合わせをせず「こまかさなご」こと

●成績（業績）が上がらなかったと言つて世の中不景気であると「あきらめない」といった3つのことを望みたいですね。

大学生の皆さんには学生時代にしかできないことを、可能的挑戦を思い切りして欲しいと思います。つまり、スポーツや文化活動などそれぞれのテーマでいいと思います。ただし競い合うことと言えませんが学生チャンピオンを目指すことも必要ですが、順位にこだわらず4年間、正選手・補欠・マネージャー・応援団といった

いるのには自分は弟子生活で5年の歳月を費やしました。そんな友人達と比べ自分が嫌になった時もあった。そんな時に1人の陶芸家の作品に出会いました。研鑽を積みこんだ作品が作れるようになるのかと目標ができたんです」と、当時を振り返る。備前焼や瀬戸焼で勉強もし、仕事の広がりがあったという。

最近ではオーストリア・ザルツブルグでのジャパンウィーク、アメリカ・ワシントン州ワラワラ市でのワークショップにも参加した。「アメリカでは、大学に陶芸の施設が完備されていて、日本の陶芸に興味を持っていて、日本人は手先が器用で、その細かさは格段に違う。現代の日本の陶芸技術は世界一ではないか」とのこと。

そして「手先の動く限り良い作品作りに挑戦し、後世に残る物を作りたい」とし、「長い年月を経た伝承ついでに作品達には生命力があり、相当の魅力がなければ後世には残らない」と厳しい姿勢で語られる。

最後に、若き経大卒業生に望むものは...と話題を変えてみた。「何事も信念を持ってやってほしい。自分が選んだ仕事に誇りを持つことが大切ではないでしょうか」とし、また在学生に対しては、「学生時代はたくさん友達を作って、4年間を楽しんでほしい」と結ばれた。

土の菊練りが始まる。菊練りを習得するのに半年くらいかかるそうだが、「陶芸は半年もやれば、一つだけ作れることはできるようになります。趣味でやるならそれでいいが、仕事では同じ物を100個、200個と作れなければ職業として成り立たないのです」と、この道の深さを語っておられた。

見せていただいた。山の斜面を利用して、下から火をつける。薪は主に赤松で、赤松のヤニが燃料として火力を高めるのに最適だという。温度は1300℃にもなる。他にもガス窯や電気窯も備えて、用途に応じて使い分けている。これに「量産の道具」なる電動ろくろが加わる。このろくろの回転方向は、普通右回りだが、丹波のそれはなぜか左回り。確かな理由はわからない。

市民に選ばれる「まちづくり」を目指して

西宮市収入役

進木 伸次郎氏（33回卒）

昭和17年11月11日生まれ。西宮市出身。昭和42年3月大阪経済大学を卒業。大学入学前の昭和36年4月より西宮市職員に。平成2年人事課長、4年市長室長、7年建設局長、10年企画財政局長、14年4月に財務局長と歴任。平成14年10月より収入役。現在に至る。また、時を同じくして平成14年10月より同窓会西宮支部長に就任。



仲間とともに、継続してやりとげたという充実感のある心のチャンピオンになっていただくことを望みます。もちろん勉強も同じです。

若さは財産。若者から多くを学ぶ

よく「今の若い人は...」と言うような声を聞きますが。

私は全然思わないですね。私もよく言われてきました。若さというエネルギーは財産です。若い人から学ぶことはとても多いです。川の水は川上から濁っても川下からは濁らないように、若い人にとにかく言うことよりむしろ自らが上の人間としてのリーダーシップを発揮することに努めるべきだと思います。「今の若い人は...」は、「死語」にして欲しいくらいです。

大学にはどういったことを望まれますか。

学生や同窓生の小さな意見もくみとつていただき、明るく、個性のある、タフでわが大学に自信と誇りをもてる学生を育ててほしいと思います。

最後に御自身の夢についてお聞かせください。

夢というよりむしろ、自分のテーマとしてですが、私は人が好きで今まで多くの人に出会い、いろんなことを教えてもらいました。これまでの出会いに感謝するためにも、特に若い人を育てるようなことがしたいですね。

学生や同窓生の小さな意見もくみとつていただき、明るく、個性のある、タフでわが大学に自信と誇りをもてる学生を育ててほしいと思います。

最後に御自身の夢についてお聞かせください。

夢というよりむしろ、自分のテーマとしてですが、私は人が好きで今まで多くの人に出会い、いろんなことを教えてもらいました。これまでの出会いに感謝するためにも、特に若い人を育てるようなことがしたいですね。

仲間とともに、継続してやりとげたという充実感のある心のチャンピオンになっていただくことを望みます。もちろん勉強も同じです。

若さは財産。若者から多くを学ぶ

よく「今の若い人は...」と言うような声を聞きますが。

私は全然思わないですね。私もよく言われてきました。若さというエネルギーは財産です。若い人から学ぶことはとても多いです。川の水は川上から濁っても川下からは濁らないように、若い人にとにかく言うことよりむしろ自らが上の人間としてのリーダーシップを発揮することに努めるべきだと思います。「今の若い人は...」は、「死語」にして欲しいくらいです。

大学にはどういったことを望まれますか。

学生や同窓生の小さな意見もくみとつていただき、明るく、個性のある、タフでわが大学に自信と誇りをもてる学生を育ててほしいと思います。

最後に御自身の夢についてお聞かせください。

夢というよりむしろ、自分のテーマとしてですが、私は人が好きで今まで多くの人に出会い、いろんなことを教えてもらいました。これまでの出会いに感謝するためにも、特に若い人を育てるようなことがしたいですね。

O B REPORT
O B 探訪

松下電工のアメリカンフットボールチーム、インパルスと言えは社会人アメリカンフットボールの雄と言ってもいいだろう。インパルスの3つの信念である

- 常に日本一を目指す
- アマチュアリズムに徹する
- 目標を達成するために執念を燃やし続ける

というモットーには並々ならぬ意気込みを感じる。そんなチームに属し、インパルスの黄金期を支えた経大卒業生がいる。白岩弘司氏である。

一流にもまれて、一流になる…
選手として社会人として

高校時代はハンドボールの選手として活躍していたという白岩氏がアメリカンフットボールと出会ったのは大学入学時。「大学から始めても間に合うスポーツであり、元々興味があった。だから経験が無くても自然にのめりこめたんです」。

体格は185cm、95kg以上の白岩氏はポジションでいうとラインに属し、チームの弱さはさておき、個人としての可能性はあるという手ごたえを感じながら、名門・松下電工の扉をたたいた。

入社してからは、アメリカンフットボールに取り組める環境の違いも驚ることながら、選手層の厚さにも驚

目の前の10ヤードを走り続けて

松下電工株式会社 ナシヨップ・調光システム事業部 営業企画部 課長

白岩 弘司氏 (56回卒)

平成2年3月大阪経済大学経営学部経営学科卒業
平成2年4月松下電工入社～現在
大阪府立登美丘高校から大阪経済大学に進み、
在学中は交通論について学ぶ。



いたという。「野球で言うところのドラフト1位2位級の選手ばかり。アメフトの専門雑誌に出ている有名選手がチームメイトなんです」。

しかし、憧れと劣等心が練習への積極的な参加を生み、入社すぐの試合ではスタメンに抜擢された。

そうこうするうちに入社1年目で社会人リーグ初優勝のチャンスが巡ってくる。練習スタイルは週3日、仕事を終えてからの参加となり、それは相当厳しいスケジュールだったと語る。「勝てば初優勝のチャンスでしたからね。対戦チームは仕事もせず、合宿をしてわがチームとの対戦に備えることもあり、逆に仕事を他の一般社員の方と同じようにしながら、試合に挑むことは、不安な気持ちもありましたが、むしろ誇りに思っていました。モットーである『一流の選手である前に、一流の社会人であれ』を支えにもしました」。

練習が10時に終わったあとの残業や、ビデオを見ての相手チームの研究、けがや病気はもちろん、法度であるのである程度の休養や睡眠も必要。だが、様々な努力のかいあって優勝を決めることができた(平成2年東京スーパーボウル優勝)。

さらに入社5年目では日本一の榮譽に輝く(平成7年1月3日ライスボウル優勝)。

当時白岩氏はキャプテンを務めていた。「私は専属のコーチもいなかった2部リーグの出身で、入社当時は専門的な知識も専門用語すらもおぼつかないんですけど、だからこそだからでも何でも素直に受け入れて強くなるための努力をひたすらしてこられた。それが認められたのだと思います」。

試合に負けて責任を感じたこともあったと言うが、気負わず自分がやってきたことをそのまま出せばいい、それが自然と現れた結果が優勝だったのかも振り返る。

30歳で現役を引退して6年が経った現在、「体重はそのままなので筋肉が脂肪に変わってしまった」と笑う白岩氏。新しくできた東京の本社と大阪の間を行き来することの多い、店舗照明の仕事に携わっている。飛び回る各地の営業所では「ああ、あの白岩君」と声を掛けられながら、「多くの方々に支えられていることを実感しています。今、目の前の10ヤードは絶対突破しなければならぬ、バックアップは無駄にはしないと決意も固い。学生の皆さんは夢を持って欲しい。夢ほど大きくなくても自分の目の前の10ヤードは何であるかと思えて欲しい」と白岩氏は今も休まず走り続けている。

「黒正巖博士遺墨展」 開催に向けてのお願い



成田一徹氏(39回)作



日本経済史研究所では、2003年に開所70周年を無事迎えることができました。これもひとえに、同窓会をはじめ関係する皆さまの御支援の賜物と感謝申し上げます。

研究所では、2002年の開学70周年記念の一環として初代学長であり、研究所創設者の一人でもある黒正巖博士の著作集を全7巻で刊行しました。また2000年に開いたシンポジウムの成果は、『社会経済史学の誕生と黒正巖』としてまとめました(いずれも思文閣出版)。

黒正巖博士の建学の精神は「自由と融和」であり、研究の基本理念は「道貫貫大地」という言葉に表されています。

研究所では、1988年に刊行した『黒正巖博士遺稿集』の続編を、同窓生の藤原大八氏の御協力を得て企画編集集中ですが、併せて来年度に「黒正巖博士遺墨展」を開催したいと思っています。

つきましては、同窓生の皆さまの中で、黒正博士の遺墨(軸物、色紙、手紙など)をお持ちの方がいらつしやいましたら、研究所まで御一報くだされば幸いです。お借りできるものについては、開催日時などが決まり次第、あらためて御連絡申しあげます。もし御寄贈頂けるものでしたら、研究所で責任をもって保管してまいります。

同窓生の皆さまだけでなく、若い学生にも黒正巖博士の気骨と情愛あふれる遺墨を見てもらうことで、「経大生であることの誇り」を伝えられたいと思います。

よろしく御協力の際、お願い致します。

日本経済史研究所 所長 徳永光俊

大経大フリーマーケット



和歌山支部、丹有支部、徳島支部などからの新鮮な野菜や特産物のフリーマーケットやゴスペルなど楽しいイベントがいっぱいでした。



雨中のフリーマーケット

さる11月3日、大阪経済大学西キャンパスで同窓会主催の「大経大フリーマーケット」が開かれた。18のテント小間に和歌山支部から和歌山特産のみかんや柿、丹有支部から丹波の黒大豆や丹波栗、徳島支部からはなると金時、奈良県川上村から無農薬野菜、といった郷土の品々、さらにはタイロン(株)の酒粕漬物、向島酒造(株)の経大の酒、岩谷産業(株)のシチュウボット、ダイエー上新庄店からはダイエー推奨の食料品など、同窓会支部や卒業生の企業、そして周辺町内会の経大支援グループセブン会などから多彩な商品が持ちこまれ、中には市価の半値という掘り出し物もあつて、朝早くからつめかけた周辺住民の方々は、手いっぱい買い物を楽しんでいた。

あいにくの雨で客足は鈍ったが、催し会場をE館1階のフロアーに場所を移して開催した事もあつて、午後から行われた谷弘行氏(経大OB・向島酒造会長)のマジックショウやドイツ人尺八奏者ウーベホルター氏とゴスペルチームなどの熱演に、大きな拍手が送られ、「見学者の我々の目と耳を楽しませてくれましたし、学生さん達による餅つき大会で、つきたての餅入りぜんざいも食べさせていただき、大満足ですわ」と、買ったばかりの白菜を片手に帰路につかれるご夫婦。このフリーマーケットを通じて「地域社会に開かれた大学」という建学の理念の一端を少しでも感じ取ってもらえればと思いつつ後ろ姿を見送った。



幅広い年代の受講者が真剣にパソコンに向かって受講。

大好評のパソコン教室

さる11月1日から3日間、パソコン教室実行委員会主催、同窓会、後援会後援による「2003年度大経大パソコン教室」がE館(50周年記念館)で行われ、454名の方々が受講された。

今回のパソコン教室は、数えて4回目ということで、カリキュラムを、初めてパソコンに触れるという方に基礎A講座を、経験者でもっとレベルアップをという方に基礎B講座、それにデジカメとハガキコースの2つを加えた4コースにわかれて講習が行われ、参加者一同昼食をはさんで午前、午後の講座で熱心にマウスを動かしていた。

実行委員長の松浦雄一郎君によれば「今回も申し込み件数は800件を超え、抽選で454名の方に受講していただきましたが、昨今のIT化を反映して女性とお年寄りの方の受講生が多くなりました。そういった方々により理解を深めていただけるよう、我々も精一杯頑張っています」と意欲をみせ、受講生も「以前にもこのパソコン教室を受講しましたが、年を取ると忘れっぽくて、また機会を与えてもらって喜んでいきます」とか、子供さん同伴のご婦人も「これで今年の年賀状はパソコンで作れそうですね」と、にこやかにパソコンに取り組んでおられた。

学 歌

作詞 秋本吉郎
(元本学教授)
作曲 柴田南雄
(元東京芸術大学教授)

1.

大淀の 水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が沁みる
この若さ
希望は明るい 蒼穹かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学

2.

大樟の 蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた 融和の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正巖
(昭和高商初代校長)
作曲 水野康孝
(元本学教授)

1.

商都の東北^{でんこう}澁江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2.

一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教への道の元標

3.

黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八^{おち}衝を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

逍遙歌

作詞 中村行男
(16回卒)
作曲 松川圭一
(15回卒)

1.

此処 城北に迎えたる
紺碧^{こんぺき}淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.

水や濁れる人の世に
真理^{まこと}求めて遊ぶ子の
友愛^{くおん}久遠に変わるまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3.

踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命^{まなびや}新たな此の曲に
花咲く野^{のやま}山^{もと}花の下
声美しく歌うかな